

国際日本研究専攻後期

専攻共通科目(平成27年度以降入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMA01	プロジェクト演習3	2	1.0	1	通年	応談		国際日本研究専攻全教員	受講者は、自らの研究プロジェクトに基づいた博士論文の予備的論文を、指導教員(複数)との討議や協議の中で、作成し、その研究成果を発表する。基本的な議論の枠組みの展開、主要な先行研究との関連、主要な素材分析結果、学問的な諸発見と貢献を提示するとともに、博士論文の中核となる諸章を発表する。	
02DMA02	プロジェクト演習4	2	1.0	2	通年	応談		国際日本研究専攻全教員	受講者は、自らの研究プロジェクトに基づいた博士論文の予備的論文を、指導教員(複数)との討議や協議の中で、作成し、その研究成果を発表する。基本的な議論の枠組みの展開、主要な先行研究との関連、主要な素材分析結果、学問的な諸発見と貢献を提示するとともに、博士論文の中核となる諸章を発表する。	
02DMA03	リサーチ・プログラム開発入門(RPDC) 1	2	2.0	1	春AB	応談		国際日本研究専攻全教員	自らの研究テーマに関して指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の指定する学習教材、文献、各種資料などを幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」はウェブ上で公開することを原則とする。本講義・演習は早期修了予定者(これも事前に承諾がある)が履修することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立っては、指導教員および学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の許可がある。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本講義・演習を受講したい者は、事前に指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)、専攻長の承諾がある。本講義・演習では早期修了のために必要な学習プロセスの基本(学会発表等)についても学ぶ。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMA04	大学院博士入門演習		2	1.0	1	秋AB	応談	国際日本研究専攻 全教員	受講者は論文の執筆方法、文献の引用の仕方、研究者としての倫理・モラル(絶対に無断引用しないなど)等について基本的な事項を学んだ上で、自らの研究テーマをどのように選び、深めていけばよいか、そのことで学会や実社会にどのように貢献するか、講義、発表等を通じて学習していく。 履修を希望する場合は、秋学期開始の前までに専攻事務室に照会すること。 Students who hope to take the class have to contact IAJS faculty office before starting Fall semester. Contact: office@japan.tsukuba.ac.jp	

専門科目(ディシプリン共通科目)(平成27年度以降入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMC01	リサーチ・プログラム開発9		2	2.0	1	春AB	応談	白戸 健一郎, 生藤 昌子, 関 能徳, 文 昶允, 平山 朝治, 根本 信義, 田中 洋子, 一三三 朋子, 後藤 嘉宏, 木 戸 光子, 平沢 照雄, 柴田 政子, 石 塚 修, 川崎 レスリー タック, 小野 正樹, 崔 宰栄, 井 出 里咲子, 平石 典子, 海後 宗男, 高木 智世, 明石 純一, 大友 貴史, 福住 多一, 潘 亮, ダダバエフ ティムール, ブッシュネル ケード コンラン, 宮坂 渉, 関 崎 博紀, 山本 英弘, 塩谷 哲史, ルート ヴァンバーレン, 嚴 錫仁, 高橋 秀直	自らの研究テーマに関して指導教員(複数が望ましい)の指定する学習教材、文献、各種資料などは幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」はウェブ上で公開することを原則とする。本演習は早期修了予定者が修士論文作成に必要な知識を習得することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立って、指導教員の許可がある。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本演習を受講したい者は、事前に指導教員、学位プログラムリーダーの承諾がある。本演習では早期修了のために必要な学習プロセスの基本(学会発表等)についても学ぶ。レポートは「リサーチ・プログラム開発1, 2, 3, 4」とは別のものでなければならない。	OBBE000と同一。
02DMC02	リサーチ・プログラム開発10		2	2.0	1	秋AB	応談	白戸 健一郎, 生藤 昌子, 関 能徳, 文 昶允, 平山 朝治, 根本 信義, 田中 洋子, 一三三 朋子, 後藤 嘉宏, 木 戸 光子, 平沢 照雄, 柴田 政子, 石 塚 修, 川崎 レスリー タック, 小野 正樹, 崔 宰栄, 井 出 里咲子, 平石 典子, 海後 宗男, 高木 智世, 明石 純一, 大友 貴史, 福住 多一, 潘 亮, ダダバエフ ティムール, ブッシュネル ケード コンラン, 宮坂 渉, 関 崎 博紀, 山本 英弘, 塩谷 哲史, ルート ヴァンバーレン, 嚴 錫仁, 高橋 秀直	自らの研究テーマに関して指導教員(複数が望ましい)の指定する学習教材、文献、各種資料などは幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」はウェブ上で公開することを原則とする。本演習は早期修了予定者が修士論文作成に必要な知識を習得することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立って、指導教員の許可がある。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本演習を受講したい者は、事前に指導教員、学位プログラムリーダーの承諾がある。本演習では早期修了のために必要な学習プロセスの基本(学会発表等)についても学ぶ。「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録される学習内容、レポートは「リサーチ・プログラム開発1, 2, 3, 4, 5」とは別のものでなくてはならない。	OBBE001と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMC03	リサーチ・プログラム開発11	2	2.0	2	春AB	応談		白戸 健一郎, 生藤 昌子, 関 能徳, 文 昶允, 平山 朝治, 根本 信義, 田中 洋子, 一三三 朋子, 後藤 嘉宏, 木 戸 光子, 平沢 照雄, 柴田 政子, 石 塚 修, 川崎 レスリー タック, 小野 正樹, 崔 宰栄, 井 出 里咲子, 平石 典子, 海後 宗男, 高木 智世, 明石 純一, 大友 貴史, 福住 多一, 潘 亮, ダダバエフ ティムール, ブッシュネル ケード コンラン, 宮坂 渉, 関 崎 博紀, 山本 英弘, 塩谷 哲史, ルート ヴァンバーレン, 巖 錫仁, 高橋 秀直	自らの研究テーマに関して指導教員(複数が望ましい)の指定する学習教材、文献、各種資料などをば広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」はウェブ上で公開することを原則とする。本演習は早期修了予定者が修士論文作成に必要な知識を習得することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立って、指導教員の許可がある。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本演習を受講したい者は、事前に指導教員、学位プログラムリーダーの承諾がある。本演習では早期修了のために必要な学習プロセスの基本(学会発表等)についても学ぶ。「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録される学習内容、レポートは「リサーチ・プログラム開発1, 2, 3, 4, 5, 6」とは別のものではない。	OBBE002と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMC04	リサーチ・プログラム開発12	2	2.0	2	秋AB	応談		白戸 健一郎, 生藤 昌子, 関 能徳, 文 昶允, 平山 朝治, 根本 信義, 田中 洋子, 一三三 朋子, 後藤 嘉宏, 木 戸 光子, 平沢 照雄, 柴田 政子, 石 塚 修, 川崎 レスリー タック, 小野 典子, 海後 宗男, 高木 智世, 明石 純一, 大友 貴史, 福住 多一, 潘 亮, ダダバエフ ティムール, ブッシュネル ケード コンラン, 宮坂 渉, 関 崎 博紀, 山本 英弘, 塩谷 哲史, ルート ヴァンバーレン, 巖 錫仁, 高橋 秀直	自らの研究テーマに関して指導教員(複数が望ましい)の指定する学習教材、文献、各種資料などを幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」はウェブ上で公開することを原則とする。本演習は早期修了予定者が修士論文作成に必要な知識を習得することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立っては、指導教員の許可がいる。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本演習を受講したい者は、事前に指導教員、学位プログラムリーダーの承諾がいる。本演習では早期修了のために必要な学習プロセスの基本(学会発表等)についても学ぶ。「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録される学習内容、レポートは「リサーチ・プログラム開発1, 2, 3, 4, 5, 6, 7」とは別のものでなくてはならない。	OBBE003と同一。

専門科目(リサーチ・プログラム開発)(平成27年度以降入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMD01	リサーチ・プログラム開発複合3	2	2.0	1	春AB	応談			複合学位プログラムに関する研究テーマを選んだ学生のみが履修できる。指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の指定する学習教材、文献、各種資料などを幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」はウェブ上で公開することを原則とする。本講義・演習は早期修了予定者(これも事前に承諾がいる)が履修することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立っては、指導教員および学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の許可がいる。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本講義・演習を受講したい者は、事前に指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)、専攻長の承諾がいる。	事前に申請・許可が必要(複合科目に関する特別演習)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMD02	リサーチ・プログラム開発複合4	2	2.0	2	秋AB	応談			複合学位プログラムに関する研究テーマを選んだ学生のみが履修できる。指導教員(複数が望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の指定する学習教材、文献、各種資料などを幅広く集中的に学習し、また関連する学会、シンポジウム、会議、公開講座等に参加し、そこでの学習成果を「リサーチ・プログラム開発ノート」に記録する。それを指導教員、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)に報告し、学習の進捗度について指導を受ける。学習の進捗状況、学習内容について「可」としての判断が出た場合、最終レポートを執筆し、レポートが合格になれば単位が与えられる。学習内容、レポートは通常の10回分の講義および予復習を通じて身につけられる程度に相当する質と量が必要である。レポートおよび「リサーチ・プログラム開発ノート」はウェブ上で公開することを原則とする。本講義・演習は早期修了予定者(これも事前に承諾がある)が履修することを念頭に置いて開講するものであり、履修に先立っては、指導教員および学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)の許可がある。早期修了予定者以外の学生で特別な理由があり、本講義・演習を受講したい者は、事前に指導教員(複数望ましい)、学位プログラム代表者(サブ、カリキュラム責任者を含む)、専攻長の承諾がある。	事前に申請・許可が必要(複合科目に関する特別演習)
02DMD03	リサーチ・プログラム特別開発3	2	1.0	1-3	春ABC	応談		国際日本研究専攻全教員	本科目は英語等外国語による優秀な学術業績の成果産出を促す目的から開講するものであり、学生は指導教員および専攻長に履修の意思を示し、専攻教育会議において履修の適切性が審議・承認された場合において、その履修が認められる。 学生は自らの研究テーマに関して、専攻長、指導教員、学位プログラム代表者等の指示する教材、文献、各種資料などを広く学習しつつ、海外の関連学会・シンポジウム・学術会議・公開講座等に参加のうえ発表をおこない、その発表詳細および学習成果について総括レポートを作成する。レポートは通常10回分の講義および予復習、外国語運用能力の向上に資する程度の質と量を必要とする。 学生は総括レポートを必ず指導教員および専攻長に報告し、そのレポートに記載された研究の進捗状況および学習内容は専攻において審査される。審査の結果「可」の判断が与えられた場合、1.0単位が付与される。	申請・許可が必要(特別演習)
02DMD04	リサーチ・プログラム特別開発4	2	1.0	1-3	秋ABC	応談		国際日本研究専攻全教員	本科目は英語等外国語による優秀な学術業績の成果産出を促す目的から開講するものであり、学生は指導教員および専攻長に履修の意思を示し、専攻教育会議において履修の適切性が審議・承認された場合において、その履修が認められる。 学生は自らの研究テーマに関して、専攻長、指導教員、学位プログラム代表者等の指示する教材、文献、各種資料などを広く学習しつつ、海外の関連学会・シンポジウム・学術会議・公開講座等に参加のうえ発表をおこない、その発表詳細および学習成果について総括レポートを作成する。レポートは通常10回分の講義および予復習、外国語運用能力の向上に資する程度の質と量を必要とする。 学生は総括レポートを必ず指導教員および専攻長に報告し、そのレポートに記載された研究の進捗状況および学習内容は専攻において審査される。審査の結果「可」の判断が与えられた場合、1.0単位が付与される。	申請・許可が必要(特別演習)

専門科目(国際日本社会科学学位プログラム)(平成27年度以降入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DME04	グローバル日本政治(対外関係)3A	2	1.0	1-3					本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦奇数年度開講。 02DJ370, 02DMK12, 02DMP07, 02DMQ31と同一。
02DME05	グローバル日本政治(対外関係)3B	2	1.0	1-3	秋AB	火4		潘 亮	本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦偶数年度開講。 02DJ371, 02DMK13, 02DMP08, 02DMP17, 02DMQ32と同一。 英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DME10	グローバル社会と日本 (国際情報社会論) 1A	2	1.0	1					The main purpose of this course is to provide students with an overview of issues and topics related to the information society in the world in general and Japan and south-east Asia in particular.	西暦奇数年度開講。 02DMQ27と同一。 英語で授業。
02DME11	グローバル社会と日本 (国際情報社会論) 1B	2	1.0	1					The main purpose of this course is to provide students with an overview of issues and topics related to the information society in the world in general and Japan and south-east Asia in particular.	西暦奇数年度開講。 02DMQ28と同一。 英語で授業。
02DME12	グローバル社会と日本 (国際情報社会論) 2A	1	1.0	1					The main purpose of this course is to provide students with an overview of theories regarding the use of the Internet for political purposes, including political campaigns as well as advocacy and social movements. We will be focusing mainly on theoretical uses of the Internet supplemented by case studies in certain national milieu and for designated social topics.	西暦奇数年度開講。 02DMP15と同一。 英語で授業。
02DME13	グローバル社会と日本 (国際情報社会論) 2B	1	1.0	1					This course is a continuation of "Politics and Internet 3A" (02DMP15). During this course, the instructor will continue to provide students with an overview of theories regarding the use of the Internet for political purposes, including 21st century political campaigns as well as advocacy and social movements both using the Internet and about the Internet.	西暦奇数年度開講。 02DMP16と同一。 英語で授業。
02DME14	日本社会と計量分析2A	1	1.0	1	春AB	月5		崔 宰栄	計量分析は、社会の様々な分野での諸現象や実態を取り巻く溢れる情報から、現象や実態の把握、物事の意味付け、簡略化、客観化、推定等のため、多くの分野で用いる分析ツールの一つである。この授業では、分析に用いるデータの調査方法と、計量分析ツールを正しく使うための基礎統計の概念について講義する。講義内容は、計量分析の概要、基礎集計(度数分布)、記述統計(代表値、散布度)など統計の基本概念を理解し、計量分析4Aを勉強するための土台作りを行う。また、これらの知識を取得している場合は、多変量分析の基礎部分(各種検定、相関分析、回帰分析、カテゴリカル回帰分析、ロジスティック分析)で、柔軟に講義する。	0BBE504と同一。
02DME15	日本社会と計量分析2B	1	1.0	1	春AB	木5		崔 宰栄	計量分析は、社会の様々な分野での諸現象や実態を取り巻く溢れる情報から、現象や実態の把握、物事の意味付け、簡略化、客観化、推定等のため、多くの分野で用いる分析ツールの一つである。この授業では、分析に用いるデータの調査方法と、計量分析ツールを正しく使うための基礎統計の概念について講義する。講義内容は、計量分析3Aで学んだ知識(基礎集計、記述統計)を土台とし、関連分析(相関分析、回帰分析)を中心とした、計量分析の入門的な概念を理解し、発展させる。また、これらの知識を取得している場合は、多変量分析の高度な部分(主成分分析、因子分析、判別分析、クラスタ分析、テキスト分析など)で、柔軟に講義する。	0BBE506と同一。
02DME16	日本社会と計量分析演習2A	2	1.0	1	春AB	月6		崔 宰栄	計量分析は、社会の様々な分野での諸現象や実態を取り巻く溢れる情報から、現象や実態の把握、物事の意味付け、簡略化、客観化、推定等のため、多くの分野で用いる分析ツールの一つである。この授業では、計量分析3Aに相当する知識(基礎集計、記述統計)をベースに、分析に用いる計量分析ツールの正しい使い方を講義する。講義内容は、統計分析用ソフトSPSS(場合によっては、エクセルを並行)を用いて、一連の分析プロセスや、SPSSの基本操作(データ加工・整理・基本集計など)を学び、計量分析4Bでの高度な分析を行うための土台作りを行う。	0BBE505と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DME17	日本社会と計量分析演習2B	2	1.0	1	春AB	木6		崔 宰栄	計量分析は、社会の様々な分野での諸現象や実態を取り巻く溢れる情報から、現象や実態の把握、物事の意味付け、簡略化、客観化、推定等のため、多くの分野で用いる分析ツールの一つである。この授業では、計量分析4Aに相当する知識(相関分析、回帰分析)をベースに、分析に用いる計量分析ツールの正しい使い方を講義する。講義内容は、統計分析用ソフトSPSS(場合によっては、エクセルを並行)を用いて、計量分析3Bで学んだSPSSの基本操作(データ加工・整理・基本集計など)を土台とし、高度な分析(相関分析、回帰分析、因子分析、各種検定など)を行う。	OBBE507と同一。
02DME20	グローバル経済と日本(金融と日本社会)5A	2	1.0	1					この講義の目的は、金融論の様々な論点を19世紀から現在までの日本経済の発展を事例として学ぶことである。本講義では、特に、債権・債務関係、貨幣および決済の視点を中心に、各種の金融問題を整理する。日本の銀行システムの歴史的形成過程や機能の議論について学ぶ。例えば、高度成長期、バブル経済の崩壊、非伝統的金融政策について概観する。頼母子講や模合等の民間金融の世界についても触れる。参加者には、授業で扱った金融問題のいずれかの論点について、日本の歴史的経験と他国の歴史的経験を比較する形で検討する課題が与えられる。博士論文として金融と関わる論点を検討する参加者には、博士論文の一章として成立するような形で、期末レポートをまとめてもらう。	OBBE608と同一。 2020年度開講せず。
02DME21	グローバル経済と日本(金融と日本社会)5B	2	1.0	1					この講義の目的は、金融論の様々な論点を19世紀から現在までの日本経済の発展を事例として学ぶことである。本講義では、特に、債権・債務関係と決済の視点を中心に、各種の金融問題を整理する。金本位制やブレトンウッズ体制などの国際金融制度あるいは、大恐慌やアジア金融危機等の国際金融危機について一通り学ぶ。参加者には、授業で扱った金融問題のいずれかの論点について、日本の歴史的経験と他国の歴史的経験を比較する形で検討する課題が与えられる。博士論文として金融と関わる論点を検討する参加者には、博士論文の一章として成立するような形で、期末レポートをまとめてもらう。	OBBE609と同一。 2020年度開講せず。
02DME22	グローバル経済と日本(金融と日本社会)6A	2	1.0	1	春AB	金4		高橋 秀直	この講義の目的は、金融論の様々な論点を19世紀から現在までの日本経済の発展を事例として学ぶことである。本講義では、特に、債権・債務関係、貨幣および決済の視点を中心に、各種の金融問題を整理する。日本の銀行システムの歴史的形成過程や機能の議論について学ぶ。例えば、高度成長期、バブル経済の崩壊、非伝統的金融政策について概観する。頼母子講や模合等の民間金融の世界についても触れる。参加者には、授業で扱った金融問題のいずれかの論点について、日本の歴史的経験と他国の歴史的経験を比較する形で検討する課題が与えられる。博士論文として金融と関わる論点を検討する参加者には、博士論文の一章として成立するような形で、期末レポートをまとめてもらう。「金融3A」とは異なるトピックスを扱う。	OBBE610と同一。
02DME23	グローバル経済と日本(金融と日本社会)6B	2	1.0	1	秋AB	月5		高橋 秀直	この講義の目的は、金融論の様々な論点を19世紀から現在までの日本経済の発展を事例として学ぶことである。本講義では、特に、債権・債務関係と決済の視点を中心に、各種の金融問題を整理する。金本位制やブレトンウッズ体制などの国際金融制度あるいは、大恐慌やアジア金融危機等の国際金融危機について一通り学ぶ。参加者には、授業で扱った金融問題のいずれかの論点について、日本の歴史的経験と他国の歴史的経験を比較する形で検討する課題が与えられる。博士論文として金融と関わる論点を検討する参加者には、博士論文の一章として成立するような形で、期末レポートをまとめてもらう。「金融3B」とは異なるトピックスを扱う。	OBBE611と同一。
02DME24	日本社会と公共経済5A	2	1.0	1					日本社会における公共経済学・公共選択論および関連分野のトピックについて検討します。	西暦奇数年度開講。
02DME25	日本社会と公共経済5B	2	1.0	1					日本社会における公共経済学・公共選択論および関連分野のトピックについて検討します。	西暦奇数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DME26	日本社会と公共経済6A	2	1.0	1	春AB	水3		仲 重人	日本社会における公共経済学・公共選択論および関連分野のトピックについて検討します。	西暦偶数年度開講。
02DME27	日本社会と公共経済6B	2	1.0	1	秋AB	水3		仲 重人	日本社会における公共経済学・公共選択論および関連分野のトピックについて検討します。	西暦偶数年度開講。
02DME28	グローバル経済と日本(現代日本経済史)1A	2	1.0	1					本授業はグローバル競争時代の地域企業経営およびその課題について専門的に研究する前提として、グローバル競争以前の経営・事業展開を歴史的に検討することを目標とする。その場合、本授業では、経済の発展に貢献することを強く意識した「地域貢献型企業」や、地域に存在する「ニッチ・トップ企業」、「研究開発重視型企業」、「自立志向型企業」などに着目し、その事業展開を歴史的に検討することを主なテーマとする。授業にあたっては、教員が着目する事例を予め提示し、その事例の重要点について説明する。それを踏まえ担当者が当該事例に関する調査結果を持ち寄り報告し、受講生全員による検討・討論を行うという形で授業を進める予定である。	OBBE616と同一。 2020年度開講せず。
02DME29	グローバル経済と日本(現代日本経済史)1B	2	1.0	1					本授業はグローバル競争時代における地域産業の衰退あるいは再生・活性化について専門的に研究する前提として、グローバル競争以前の地域産業の発展および産業集積の形成・展開について歴史的に検討することを目標とする。その場合、本授業では、地域経済の発展を支えてきた基軸産業の歴史的な変遷や地域内におけるキー・プレイヤーの変遷などに着目し、地域経済発展のダイナミズムを明らかにすることを主なテーマとする。授業にあたっては、教員が着目する事例を予め提示し、その事例の重要点について説明する。それを踏まえ担当者が当該事例に関する調査結果を持ち寄り報告し、受講生全員による検討・討論を行うという形で授業を進める予定である。	OBBE617と同一。 2020年度開講せず。
02DME30	グローバル経済と日本(現代日本経済史)2A	2	1.0	1	春AB	木1		平沢 照雄	本授業はグローバル競争下における地域企業経営および事業展開を、それ以前の展開と対比させつつ専門的に検討することを目標とする。特に本授業では、グローバル競争に適応しつつ持続的な企業成長を実現し、地域経済の発展に貢献しつつある企業に着目し、それらの企業が、グローバル競争のなかでどのような問題に直面し、どのような経営改革(「第2の創業」も含む)や新たな取り組みを展開しているのかについて具体的に検討することを主なテーマとする。授業にあたっては、教員が着目する事例を予め提示し、その事例の重要点について説明する。それを踏まえ担当者が当該事例に関する調査結果を持ち寄り報告し、受講生全員による検討・討論を行うという形で授業を進める予定である。	西暦偶数年度開講。 OBBE618と同一。
02DME31	グローバル経済と日本(現代日本経済史)2B	2	1.0	1	秋AB	木1		平沢 照雄	本授業はグローバル競争下における地域産業の衰退あるいは再生・活性化に関して、グローバル競争に突入する以前の地域産業あるいは産業集積の発展と対比させつつ専門的に検討することを目標とする。特に本授業では、グローバル競争下における産業集積の縮小や機能低下あるいは地域内の基軸産業の衰退に直面するなかで、新たに取り組みされている再生・活性化策やイノベーション・ダイナミズムと地域産業との関連などについて具体的に検討することを主なテーマとする。授業にあたっては、教員が着目する事例を予め提示し、その事例の重要点について説明する。それを踏まえ担当者が当該事例に関する調査結果を持ち寄り報告し、受講生全員による検討・討論を行うという形で授業を進める予定である。	西暦偶数年度開講。 OBBE619と同一。
02DME32	グローバル教育論(比較歴史教育)3A	2	1.0	1					第二次世界大戦以降、特に同大戦に深く関わった国や地域の歴史教育について、政治的・社会的文脈の変遷とともに考察する。Discuss history education in the post-WWII period particularly in the countries which were heavily involved in the war.	西暦奇数年度開講。 02DM108, 02DMQ41と同一。
02DME33	グローバル教育論(比較歴史教育)3B	2	1.0	1	春AB	火2		柴田 政子	第二次世界大戦以降、特に同大戦に深く関わった国や地域の歴史教育について、政治的・社会的文脈の変遷とともに考察する。Discuss history education in the post-WWII period particularly in the countries which were heavily involved in the war.	西暦偶数年度開講。 02DMQ42と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DME35	グローバル政治と日本社会(国際人口移動論)3B	2	1.0	1 - 3	春AB	火5		明石 純一	現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて報告をおこなう。	西暦偶数年度開講。02DMQ04と同一。
02DME40	グローバル社会と日本(法と市民社会)5A	2	1.0	1					近代市民社会において成立した法は、一定の理念、価値に基づいている。他方、グローバル化、情報化、少子高齢化が進む中で、法は変容を続けている。このような中で、我々は、法の根底にある理念、価値を学び直し、変えてはいけないものと変えるべきものを切り分ける能力を持たなければならない。そこで、市民社会において現に起きている事件や論争などの法的問題を、憲法、刑事法、民事法、他国との比較などの観点から検討し、法の理念、価値を理解した上で、現実の対応策を提言できるようになることを目指す。授業計画と形式であるが、受講生からテーマを募り、そのテーマの理解に必要な基礎的知識について講義をした上で、そのテーマに関する具体的な事件や論争を取り上げ、討論する。「法と市民社会1A, 1B, 2A, 2B」とは異なるトピックスを扱う。	OBBE708と同一。2020年度開講せず。
02DME41	グローバル社会と日本(法と市民社会)5B	2	1.0	1					近代市民社会において成立した法は、一定の理念、価値に基づいている。他方、グローバル化、情報化、少子高齢化が進む中で、法は変容を続けている。このような中で、我々は、法の根底にある理念、価値を学び直し、変えてはいけないものと変えるべきものを切り分ける能力を持たなければならない。そこで、市民社会において現に起きている事件や論争などの法的問題を、憲法、刑事法、民事法、他国との比較などの観点から検討し、法の理念、価値を理解した上で、現実の対応策を提言できるようになることを目指す。授業計画と形式であるが、受講生からテーマを募り、そのテーマの理解に必要な基礎的知識について講義をした上で、そのテーマに関する具体的な事件や論争を取り上げ、討論する。「法と市民社会1A, 1B, 2A, 2B, 3A」とは異なるトピックスを扱う。	OBBE709と同一。2020年度開講せず。
02DME42	グローバル社会と日本(法と市民社会)6A	2	1.0	1	春AB	応談		根本 信義	近代市民社会において成立した法は、一定の理念、価値に基づいている。他方、グローバル化、情報化、少子高齢化が進む中で、法は変容を続けている。このような中で、我々は、法の根底にある理念、価値を学び直し、変えてはいけないものと変えるべきものを切り分ける能力を持たなければならない。そこで、市民社会において現に起きている事件や論争などの法的問題を、憲法、刑事法、民事法、他国との比較などの観点から検討し、法の理念、価値を理解した上で、現実の対応策を提言できるようになることを目指す。授業計画と形式であるが、受講生からテーマを募り、そのテーマの理解に必要な基礎的知識について講義をした上で、そのテーマに関する具体的な事件や論争を取り上げ、討論する「法と市民社会1A, 1B, 2A, 2B, 3A, 3B」とは異なるトピックスを扱う。	西暦偶数年度開講。OBBE710と同一。
02DME43	グローバル社会と日本(法と市民社会)6B	2	1.0	1	秋AB	応談		根本 信義	近代市民社会において成立した法は、一定の理念、価値に基づいている。他方、グローバル化、情報化、少子高齢化が進む中で、法は変容を続けている。このような中で、我々は、法の根底にある理念、価値を学び直し、変えてはいけないものと変えるべきものを切り分ける能力を持たなければならない。そこで、市民社会において現に起きている事件や論争などの法的問題を、憲法、刑事法、民事法、他国との比較などの観点から検討し、法の理念、価値を理解した上で、現実の対応策を提言できるようになることを目指す。授業計画と形式であるが、受講生からテーマを募り、そのテーマの理解に必要な基礎的知識について講義をした上で、そのテーマに関する具体的な事件や論争を取り上げ、討論する。「法と市民社会1A, 1B, 2A, 2B, 3A, 3B, 4A」とは異なるトピックスを扱う。	西暦偶数年度開講。OBBE711と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DME44	グローバル社会と日本 (法と現代社会)5A	2	1.0	1					国家制度と法が時代的、地域的に限定された諸条件の下で生み出され展開されること、それにもかかわらずローマ法は日本を含む現代世界まで受け継がれるだけの普遍性を内包していたこと、を理解することができるようになることを目標とする。本演習では、ヨーロッパの法文化の基礎であり、これを受け継いだ日本の法文化の基礎の一部でもある、古代ローマの国家制度と法(一般にローマ法と呼ばれている)を題材とする。古代ローマの歴史・社会(法を含む)・文化に対する興味感心を喚起すると共に、ローマ法がいかなる法的紛争に対し、いかなる解決を与えてきたかを史料に基づいて検討するために、ローマ法が現代まで連続と受け継がれてきた経緯を概説した上で、ローマ法の内容を現代に伝えるラテン語史料、特に法学提要Institutionesの検討を中心に議論する。	OBBE712と同一。 2020年度開講せず。
02DME45	グローバル社会と日本 (法と現代社会)5B	2	1.0	1					国家制度と法が時代的、地域的に限定された諸条件の下で生み出され展開されること、それにもかかわらずローマ法は日本を含む現代世界まで受け継がれるだけの普遍性を内包していたこと、を理解することができるようになることを目標とする。本演習では、ヨーロッパの法文化の基礎であり、これを受け継いだ日本の法文化の基礎の一部でもある、古代ローマの国家制度と法(一般にローマ法と呼ばれている)を題材とする。古代ローマの歴史・社会(法を含む)・文化に対する興味感心を喚起すると共に、ローマ法がいかなる法的紛争に対し、いかなる解決を与えてきたかを史料に基づいて検討するために、ローマ法が現代まで連続と受け継がれてきた経緯を概説した上で、ローマ法の内容を現代に伝えるラテン語史料、特に学説彙纂Digestaの検討を中心に議論する。	OBBE713と同一。 2020年度開講せず。
02DME46	グローバル社会と日本 (法と現代社会)6A	2	1.0	1	春A	応談		宮坂 渉	国家制度と法が時代的、地域的に限定された諸条件の下で生み出され展開されること、それにもかかわらずローマ法は日本を含む現代世界まで受け継がれるだけの普遍性を内包していたこと、を理解することができるようになることを目標とする。本演習では、ヨーロッパの法文化の基礎であり、これを受け継いだ日本の法文化の基礎の一部でもある、古代ローマの国家制度と法(一般にローマ法と呼ばれている)を題材とする。古代ローマの歴史・社会(法を含む)・文化に対する興味感心を喚起すると共に、ローマ法がいかなる法的紛争に対し、いかなる解決を与えてきたかを史料と研究文献とに基づいて検討する。	西暦偶数年度開講。 OBBE714と同一。
02DME47	グローバル社会と日本 (法と現代社会)6B	2	1.0	1	秋C	応談		宮坂 渉	国家制度と法が時代的、地域的に限定された諸条件の下で生み出され展開されること、それにもかかわらずローマ法は日本を含む現代世界まで受け継がれるだけの普遍性を内包していたこと、を理解することができるようになることを目標とする。本演習では、ヨーロッパの法文化の基礎であり、これを受け継いだ日本の法文化の基礎の一部でもある、古代ローマの国家制度と法(一般にローマ法と呼ばれている)を題材とする。古代ローマの歴史・社会(法を含む)・文化に対する興味感心を喚起すると共に、ローマ法がいかなる法的紛争に対し、いかなる解決を与えてきたかを史料と研究文献とに基づいて検討する。	西暦偶数年度開講。 OBBE715と同一。
02DME52	グローバル社会と日本 (企業論)2	1	1.0	1	秋B	集中	人社 A422		激動のグローバル時代における企業のあり方について事例を交えつつ探る。	01DR249と同一。
02DME54	ユーラシア交流B	1	1.0	1 - 3					This class will take the case studies of Japanese and Chinese foreign policy initiatives - Central Asia plus Japan and Shanghai Cooperation Organization - and analyze their successes, problems and challenges. 日本の「中央アジアプラス日本」のイニシアティブと上海協力機構に主点をあて、これらの外交政策の利点、弱点、課題と将来を検討する。	西暦奇数年度開講。 02DM218, 02DMQ16と同一。 英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DME55	ユーラシア交流演習A	2	1.0	1 - 3	秋AB	応談		ダダバエフ ティムール	This class will focus on the analysis of Japanese diplomacy and relations between Japan and post-Soviet states of Eurasia. 旧ソ連諸国(ロシア、ウクライナ、ベラルーシに加え、コーカサス、中央アジア諸国)と日本の関係を取り上げ、この地域における日本の外交政策を分析する。	西暦偶数年度開講。02DMQ07と同一。
02DME56	ユーラシア交流演習B	2	1.0	1 - 3	秋AB	応談		ダダバエフ ティムール	This class will focus on the analysis of Japanese diplomacy and relations between Japan and post-Soviet states of Eurasia. 旧ソ連諸国(ロシア、ウクライナ、ベラルーシに加え、コーカサス、中央アジア諸国)と日本の関係を取り上げ、この地域における日本の外交政策を分析する。	西暦偶数年度開講。02DMQ08と同一。
02DME57	ユーラシア世界史A	1	1.0	1 - 3	春AB	火2		塩谷 哲史	This course examines the establishment and development of the Soviet nationalities policy, and the nation-building process in Central Eurasia in 1920s and 1930s. The instructor will help students to develop an understanding of the new research trends of Modern Central Asian history. This course also aims at improving academic presentation skills.	西暦偶数年度開講。02DMQ23と同一。
02DME58	ユーラシア世界史B	1	1.0	1 - 3	秋AB	火2		塩谷 哲史	This course examines the establishment and development of the Soviet nationalities policy, and the nation-building process in Central Eurasia in 1920s and 1930s. The instructor will help students to develop an understanding of the new research trends of Modern Central Eurasian history, cultural anthropology and environmental studies.	西暦偶数年度開講。02DMQ24と同一。
02DME59	ユーラシア世界史演習A	2	1.0	1 - 3					中央ユーラシア史に関する研究文献を講読し、その内容について議論する。	西暦奇数年度開講。02DM281, 02DMQ09と同一。
02DME60	ユーラシア世界史演習B	2	1.0	1 - 3					中央ユーラシア史、人類学に関する研究文献を講読し、その内容について議論する。	西暦奇数年度開講。02DM282, 02DMQ10と同一。
02DME61	グローバル政治と日本社会(ゲーム理論と日本社会)5A	2	1.0	1 - 3	春AB	応談		福住 多一	協力ゲーム理論に関する専門的な最新研究論文や研究書を輪読する。必要に応じて位相数学や凸解析の数学的トレーニングとして、これらのテキストの輪読も行う。協力ゲームの様々な解の公理的特徴付けだけでなく、非協力ゲーム理論に基づく戦略的観点から、協力ゲームの様々な解概念の性質を検討する(ナッシュ・プログラム)研究も積極的に扱う。さらにこれらの理論的知見を、履修者が関心を持つ様々な社会・経済現象に応用する手法を検討しながら研究の指導を行う。	西暦偶数年度開講。0BBE602と同一。
02DME62	グローバル政治と日本社会(ゲーム理論と日本社会)5B	2	1.0	1 - 3	秋AB	応談		福住 多一	進化ゲーム理論及びプレイヤーの学習モデル、そしてこれらに基づいた非協力ゲーム理論の均衡選択問題に関する研究の指導を行う。受講生の理解の水準に合わせて、これらの研究書もしくは必要となる確率過程や微分方程式のテキストの輪読を行う。これと並行して最新の研究論文を精読する。具体的なテーマは、ポテンシャル・ゲーム、確率進化ゲーム、選好進化の理論、言語の進化モデル分析などを予定している。これらの最新理論の経済学や政治学への応用研究論文も扱い、受講生の関心に沿った研究テーマ設定をして論文指導を行う。	西暦偶数年度開講。0BBE603と同一。
02DME63	グローバル環境と日本経済5A	1	1.0	1・2					環境問題・資源問題を分析するための環境経済学の基礎理論について解説し、環境税など現実の環境政策への応用・問題点などについて議論する。ミクロ経済学の基礎について修得済みであることが望ましい。	西暦奇数年度開講。
02DME64	グローバル環境と日本経済5B	1	1.0	1・2					環境問題・資源問題を分析するための環境経済学の基礎理論について解説し、環境税など現実の環境政策への応用・問題点などについて議論する。ミクロ経済学の基礎について修得済みであることが望ましい。	西暦奇数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DME65	グローバル環境と日本経済6A	2	1.0	1-3	春AB	火5		生藤 昌子	資源・エネルギー経済学の標準的なテキストである洋書を輪読する。受講者の報告・議論を通じて資源・エネルギー問題について経済学的視点から取り組むための理論を習得し、環境政策および、その課題を検討する。持続可能な経済成長の分析に必要な、入門的なマクロ経済動学理論も学習する。ミクロ的な個々の経済主体の意思決定が資源量の変化や気候変動により、どのようにマクロ的な一國全体あるいは国際社会・経済に影響を与えるかについての分析能力の向上を目指す。	西暦偶数年度開講。OBBE606と同一。
02DME66	グローバル環境と日本経済6B	2	1.0	1-3	秋A	火5,6		生藤 昌子	主に受講者が選んだ資源・エネルギー経済学の学術論文の講読の形式で授業を進める。受講者の状況に応じて資源・エネルギー経済学の標準的なテキストである洋書の輪読も含む。受講者の報告・議論を通じて資源・エネルギー問題について経済学的視点から取り組むための理論・実証分析の方法への理解を深める。ミクロ的な個々の経済主体の意思決定が資源量の変化や気候変動により、どのようにマクロ的な一國全体あるいは国際社会・経済に影響を与えるかについての分析能力と論文作成の基礎能力の向上を目指す。	西暦偶数年度開講。OBBE607と同一。
02DME67	グローバル社会の比較政治5A	2	1.0	1-2	春AB	水1		関 能徳	本科目の目的は、政治学のトップ・ジャーナルに掲載された論文(「比較政治4」、「Comparative Politics 3」、「Comparative Politics 4」で取り上げなかったもの)の講読を通して、比較政治の理論や方法に関する理解を深め、受講者が博士論文の着想を得ることにある。受講者は自身の論文や研究計画を報告し、他の参加者や担当教員との議論を通して、論文の質を向上させることが期待される。	西暦偶数年度開講。OBBE404と同一。
02DME68	グローバル社会の比較政治5B	2	1.0	1-2	秋AB	水1		関 能徳	本科目の目的は、政治学のトップ・ジャーナルに掲載された論文(「比較政治3」、「比較政治4」、「Comparative Politics 3」で取り上げなかったもの)の講読を通して、比較政治の理論や方法に関する理解を深め、受講者が査読付学術誌に出版できる能力を身に付けることにある。受講者は自身の論文を報告し、他の参加者との議論を通して、論文の質を向上させることが期待される。	西暦偶数年度開講。OBBE407と同一。
02DME69	グローバル社会の比較政治6A	1	1.0	1-2					日本を含む世界各国の政治現象や政治的諸課題を題材として取り上げつつ、博士研究に有用な比較政治学における量的・質的研究の方法論について幅広く議論する。あらかじめ政治学の基礎的素養を持つことが望ましい。	西暦奇数年度開講。要望があれば英語で授業
02DME70	グローバル社会の比較政治6B	2	1.0	1-2					本科目の目的は、政治学のトップ・ジャーナルに掲載された論文(「比較政治3」、「Comparative Politics 3」、「Comparative Politics 4」で取り上げなかったもの)の講読を通して、比較政治の理論や方法に関する理解を深め、受講者が査読付学術誌に出版できる能力を身に付けることにある。受講者は自身の論文を報告し、他の参加者や担当教員との議論を通して、論文の質を向上させることが期待される。	OBBE405と同一。2020年度開講せず。要望があれば英語で授業

専門科目(国際日本複合研究領域学位プログラム)(平成27年度以降入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMK01	東アジアの家と社会問題特別授業2	2	1.0	1-3					日本を含む東アジアには、儒教精神に基づく家制度、農耕文化に由来する家制度、職業の世襲による家制度、その特殊なものとして家元制度などがある。西洋化、近代化、グローバル化により、それらは変容してきた。この変容と、それらを貫いて持続する家の理念の対比を、それぞれの専門家を招へいして議論する。	西暦奇数年度開講。
02DMK02	現代アジアの家と家庭教育2	2	1.0	1-3	秋AB	木4		佐藤 貢悦	日中韓の比較文化論に関する諸問題について考察する。	02DM141, 02DMR02と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMK03	日本社会と家2A		2	1.0	1 - 3				日本神話のなかに分権的社會經濟を支える自由主義の伝統を見出すことをめざす。新羅王子・天日槍にはじまる系譜の復元、神功・応神像の変遷、道照の偉業、日本における自由主義の誕生、アマテラスと天岩戸神話のなりたち、スサノオと出雲神話のなりたち、神武東征のなりたち、といった論点について、拙著「記紀皇統譜の女系原理：天日槍 (=天彦火) 王家の復元」 http://doi.org/10.15068/00137842 、 「日本神話にみる自由主義のなりたち」 http://doi.org/10.15068/00137840 をテキストとして検討する。	0BBE152と同一。 2020年度開講せず。
02DMK04	日本社会と家2B		2	1.0	1 - 3				日本の伝統的な家業経営体であるイエの構造、その組織原理としての特性やイエが育む個人主義を比較歴史制度分析の視点からとらえることを目指して、組織原理としての「家」を巡る歴史観や理論を演習を通して再検討する。一休の転生と破戒の思想—日本個人主義の源流、「近代」の脱オリエンタリズムの再定義—産業革命はなかった、「家」社会の個人と組織—西洋と日本の近代、日本における暴力の宗教的正統化、イエ社会の盛衰とイモセの絆、「甘え」の破綻と「いき」の復権、母性社会論の脱構築、といった論点について、『平山朝治著作集第4巻「家」の伝統と現代社会』（中央経済社、2009年）をテキストとして検討する。	0BBE110と同一。 2020年度開講せず。
02DMK05	韓国の家2		2	1.0	1 - 3				韓国社会における「家」について他文化圏との比較考察を交えつつ学ぶ。韓国の「家」は、伝統的に儒教思想の強い影響下にあったが、植民地の時代を経ながら、また近代化の進行の中で変貌を余儀なくされている。現代においては高齢化問題、少子化問題の深刻化が進み、政治・社会・経済の変動にともなう、老父母扶養の問題、夫婦間の役割問題、親子間の価値観問題なども顕在化している。この授業では、主に韓国の伝統的な家族倫理と家庭教育の内容に関する諸文献を講読しながら、中国、日本の「家」との比較考察を行う。	0BBE111と同一。 2020年度開講せず。
02DMK09	日本と東アジアの比較歴史教育3A		2	1.0	1 - 3				国家形成や社会変動と教育の関係について、参加者の研究領域等具体的題材を通じて議論し、比較考察する。Comparative analysis about the relationship between education and social transformation in the process of state formation through in-class discussion.	西暦奇数年度開講。 02DM157, 02DMP09と同一。
02DMK10	日本と東アジアの比較歴史教育3B		2	1.0	1 - 3	秋AB	火2	柴田 政子	国家形成や社会変動と教育の関係について、参加者の研究領域等具体的題材を通じて議論し、比較考察する。Comparative analysis about the relationship between education and social transformation in the process of state formation through in-class discussion.	西暦偶数年度開講。 02DMP10と同一。
02DMK12	日本社会と外交3A		2	1.0	1 - 3				本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦奇数年度開講。 02DJ370, 02DME04, 02DMP07, 02DMQ31と同一。
02DMK13	日本社会と外交3B		2	1.0	1 - 3	秋AB	火4	潘 亮	本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦偶数年度開講。 02DJ371, 02DME05, 02DMP08, 02DMP17, 02DMQ32と同一。 英語で授業。
02DMK14	アジア移民社会論3A		2	1.0	1 - 3				現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて、最近の研究動向との照らし合わせや調査方法上の課題の析出などを試みながら、検討を加える。	西暦奇数年度開講。 02DM271, 02DMP11と同一。
02DMK15	アジア移民社会論3B		2	1.0	1 - 3	秋AB	火5	明石 純一	現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて報告をおこなう。	西暦偶数年度開講。 02DMP12と同一。
02DML01	日本とアジアの心身教育特別授業2		2	1.0	1 - 3				日本とアジアの心身教育の科目群について、授業の目的と展望などを概説する。	西暦奇数年度開講。
02DML02	アジアと日本における心身論2		2	1.0	1 - 3				湯浅泰雄の身体論に焦点を当てながら、その日本の特色について考察する。	西暦奇数年度開講。 02DM124, 02DMR01と同一。
02DML03	アジア的心身論2		1	1.0	1 - 3	秋AB	集中	人社 A422	アジア人の心身のありようについて、西洋近代文化の影響を考察しつつ論じる。	01DR343と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DML05	身体とコミュニケーション2	1	1.0	1-3	春C夏季休業中	集中			コミュニケーションにおいて身体の果たす多様な役割について考察・実感することを目指す。	01DR345と同一。
02DML07	身体と文化2	2	1.0	1	秋AB	月2		清水 諭	学校、都市、スタジアム、祝祭空間における身体の近代とその変容について、身体とその文化に関する理論書を読み、議論する。	01EH158と同一。
02DML08	日本古典文化と身体2	2	1.0	1-3	春AB	火2		巖 錫仁	東アジア地域において同じ儒教文化圏に属しながらも、武人政権の長い歴史を持っている日本文化は、儒教的身心論の展開においても中国と朝鮮とは異なる特性を表している。一つは「文武二道」として、日常生活のなかでの身体的能力の錬磨の重視であり、もう一つは「賞罰を施すと云も、此身のはたらき上に従て置れど」というような、身体的行動がもたらす結果を心的な動議よりも重視している点である。この授業では、こうした点をベースにおいて、江戸時代の儒学者の言説を取り扱い、日本人が伝統的に受け継いできた身体的所作について、中国、韓国との比較においてその文化的意義を学ぶ。	西暦偶数年度開講。 0BBE130と同一。
02DMM02	日本のエンターティメントと社会経済2	2	1.0	1-3	春C	月4,5		平山 朝治	日本の貨幣経済と、冤罪で殺された貴人の怨霊・御霊を祭って災厄を避け、加護を得るという信仰は、7世紀後半に東南アジアから伝わった東方キリスト教に由来する（『平山朝治著作集 第3巻 貨幣と市民社会の起源』中央経済社、2009年）。尾池和夫らによれば祇園祭は869-貞観11年（2011年の1周期前）の東日本大震災後に行われた神泉苑御霊会にはじまり（ https://blog.goo.ne.jp/kotodama2009/e/b034458fc6acbf07cff0150b5411ee24 ）、「京都の地球科学（二五五）」『氷室』2015年7月号）、多くの人が説くように蘇民将来伝説は過越と似ており、祇園守紋は×十字であるように、東方キリスト教起源の怨霊・御霊信仰が日本の伝統的な祭礼や芸能を生み出した。このような日本の伝統的エンターティメントと社会経済の関係について、上記拙著を予め読んだ上で、DVD視聴や実地体験をふまえて議論し、知見を深めることを目的とする。祇園祭DVD、能楽DVD（道成寺 梅若六郎）、歌舞伎DVD（京鹿子娘道成寺 坂東玉三郎）などを取り上げ、祇園祭の宵山、山鉾巡行、神輿渡御などの見学（7月16～17日、京都）を行う。	西暦偶数年度開講。 0BBE131と同一。
02DMM03	ソフト・パワーのメディア文化政策2	2	1.0	1-3					国家のブランド力たる真のソフト・パワーとは？本講義では昨今のクールジャパン論をはじめとする文化発信政策について検証します。	西暦奇数年度開講。 02DMT11と同一。
02DMM04	比較広告・宣伝論2	2	1.0	1-3	秋C	火4,5		白戸 健一郎	複数の事例から、広告の効果と一般的宣伝論について学ぶ。	西暦偶数年度開講。 02DMT12と同一。
02DMM06	比較情報社会2	1	1.0	1-3	春C夏季休業中	集中	人社A422		各地域・文化圏における情報技術と社会の関わり方の差異を考察する。	01DR387と同一。
02DMM07	情報社会・メディア・図書館	1	2.0	1-3	春AB	木3,4	研究室	後藤 嘉宏	メディア論におけるメディア史の時代区分に焦点を当てて論じる。講義担当者は中井正一のメディア論を研究している。したがってまず授業の前半部分は中井正一のメディア論におけるメディア史の時代区分について、中井の他の側面と照らし合わせながら、講義する。そのあと、アレント、マクルーハン、オング、ベンヤミン、フーコーなどの広い意味でのメディア論・言語論・芸術論におけるメディア史の時代区分との対比のなかで、中井の独自性あるいは限界を浮き彫りにする。授業は主に講義形式で行うが、講義形式での説明の前に、毎回上記論者の邦語邦訳書物を受講者の誰かが一冊読んで報告する。さらに上記論者に関する最新の英語文献、あるいは存命のメディア論者の英語文献をこちらで選び、報告して貰う機会も設ける。それらの部分は演習形式となる。	02MA109と同一。
02DMM08	アジアのCMC 2	1	1.0	1-3					本講義は、ネットワーク社会に関する研究の方法と理論を学び、研究の実践とそれに関連する基礎知識の習得を目的とする。主にメディア研究の社会学および社会心理学的な研究を対象とし、デジタル技術の進歩に伴う社会や人間生活への影響を検討する。	西暦奇数年度開講。 02DM211, 02DMT09と同一。
02DMM10	インターネットと市民社会2	1	1.0	1-3					本講義は、ネットワーク社会に関する研究の方法と理論を学び、研究の実践とそれに関連する基礎知識の習得を目的とする。主に社会学および社会心理学的な研究を対象とし、ネットワーク化に伴うシステムや市民生活への影響を検討する。	西暦奇数年度開講。 02DM212, 02DMT10と同一。 英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMM11	日本社会・政治とインターネット2	1	1.0	1-3	秋C	集中	人社A422		地域情報化政策の観点から、社会の情報化ついてを事例を交えて検証する。	01DR391と同一。
02DMM13	日・アジア・北米インターネット政治論2	2	1.0	1-3					The main goal of this course is to provide students with the opportunity to conduct in-depth analyses of key topics in the information society debate from the perspective of international politics. What is the relationship between international politics and the information society? What role do various international organizations play in the global information society? Our class will delve into selected topics including, but not limited to, communications and technological dynamics in international politics, digital divide theories, private companies and data/privacy security, and social network utilization.	西暦奇数年度開講。
02DMM14	日本とアジアの技術・社会イノベーション	1	1.0	1-3	秋AB	応談		国際日本研究専攻全教員	技術的イノベーションがもたらす社会の変容。日本とアジアにおける事例研究である。	
02DMN01	アカデミック翻訳特別授業2	2	1.0	1-3					翻訳や翻案に関わる学術集会に参加することによって、視野を広げ、アカデミックな場において翻訳や翻案がどのように議論されているのかを学ぶ。	西暦奇数年度開講。
02DMN02	翻訳からみた日本と東アジアの文化2	2	1.0	1-3					訳書の文献講読によって見えてくるアジアの文化的差異についての分析を試みる。	西暦奇数年度開講。
02DMN03	日本の精神文化と翻訳2	2	1.0	1-3	秋AB	火6		津城 寛文	日本は漢字を輸入し、それを変形した仮名を創造し、また近代にはヨーロッパ諸語を輸入し、それをおもに漢語で翻訳してきた。二重三重の翻訳により、日本人の精神文化は複雑な言語環境にあり、混乱を内蔵している。そのような事態を再考し、翻訳文化のあり方を、創造的に検討したい。	西暦偶数年度開講。
02DMN04	日本とアジアの相互理解のための翻訳2	2	1.0	1-3					日英中の対訳資料を用いて、日本語の特色ならびに相互理解のための翻訳について理解を深める。	西暦奇数年度開講。
02DMN05	異文化理解のための日本語翻訳2	1	1.0	1-2					よりよい翻訳に求められる異文化への眼差しについての講義である。	2020年度開講せず。
02DMN07	日本文学翻訳論	2	1.0	1-3					日本文学の翻訳をめぐる諸問題について考察する。	西暦奇数年度開講。02DM177, 02DMS01と同一。
02DMN09	異文化相互理解のための通訳2	2	1.0	1-3	秋C	水1,2		川崎 レスリー タック	(Not Offered in the 2015-16 academic year; offered in the 2016-17 academic year.) 異なる国の言葉を短期間に正確にとらえ、伝える通訳という観点から、異なる文化を如何に理解すべきについて講義、実践する。	西暦偶数年度開講。英語で授業。
02DMN10	異文化対話のための翻訳2	2	1.0	1-3					異なる国の言葉で書かれた文章を理解するには、語学力のほか、その文化も知らなければならない。文章という対話の形から、異なる文化を如何に理解すべきについて講義、実践する。During this course, students will be introduced to the theoretical and practical study of translation. First, we will look at theories about translation (mainly developed with regards to European languages) as well as methods; then we will focus on practical exercises in translation. We will be translating mainly from Japanese into English, however, we may also do English-to-Japanese translation, depending on the linguistic background of the students.	西暦奇数年度開講。英語で授業。
02DMN11	言語政策と日本語論2	1	1.0	1-2	秋C	集中	人社A422		言語政策に関する是非を検討し、よりよい国際コミュニケーションのあり方について学ぶ。	01DR428と同一。
02DMP03	比較労働・社会政策3A	2	1.0	1					工業化・資本主義化・経済発展の歴史のプロセスと、それを支える労働をはじめとする社会経済システムの関係のあり方について、日本と諸外国との国際比較を通じて検討する。	文献を読んで議論しつつ、論文執筆・学会報告への助言を行う。西暦奇数年度開講。02DM111と同一。論文草稿提出により評価する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMP04	比較労働・社会政策3B	2	1.0	1	春AB	応談		田中 洋子	各国の労働システムをはじめとする社会経済体制について、参加者一人一人が報告をし、それを題材として国際比較の観点から議論を行う。	文献を読んで議論しつつ、論文執筆・学会報告への助言を行う。02DM112と同一。論文草稿提出で評価する。
02DMP05	国際政治と共生3A	2	1.0	1 - 3					本科目の目的は、様々な文献を通じ国際関係の理論やアプローチに関する理解を深め、受講者の社会科学的分析能力をさらに身につけることにある。また、受講者は関心のある研究対象について報告をすることを通じ、分析を進める上で核となる方法論や議論の組み立て方について学ぶ。	0BBE412と同一。2020年度開講せず。
02DMP06	国際政治と共生3B	2	1.0	1 - 3	秋AB	木3		大友 貴史	本科目の目的は、様々な文献を通じ国際関係の理論やアプローチに関する理解を深め、受講者の社会科学的分析能力をさらに身につけることにある。関心のある研究対象についての報告、そして参加者との討論を通じ、また、完成度の高い論文や著書を読み込むことを通じ、核となる方法論や議論の組み立て方を学び自身のアーギュメントを再考し、改善する。	西暦偶数年度開講。0BBE414と同一。
02DMP07	日本の対外関係とグローバル共生3A	2	1.0	1 - 3					本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦奇数年度開講。02DJ370, 02DME04, 02DMK12, 02DMQ31と同一。
02DMP08	日本の対外関係とグローバル共生3B	2	1.0	1 - 3	秋AB	火4		潘 亮	本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦偶数年度開講。02DJ371, 02DME05, 02DMK13, 02DMP17, 02DMQ32と同一。英語で授業。
02DMP09	教育とグローバル共生社会3A	2	1.0	1 - 3					国家形成や社会変動と教育の関係について、参加者の研究領域等具体的題材を通じて議論し、比較考察する。Comparative analysis about the relationship between education and social transformation in the process of state formation through in-class discussion.	西暦奇数年度開講。02DM157, 02DMK09と同一。
02DMP10	教育とグローバル共生社会3B	2	1.0	1 - 3	秋AB	火2		柴田 政子	国家形成や社会変動と教育の関係について、参加者の研究領域等具体的題材を通じて議論し、比較考察する。Comparative analysis about the relationship between education and social transformation in the process of state formation through in-class discussion.	西暦偶数年度開講。02DMK10と同一。
02DMP11	多文化共生論3A	2	1.0	1 - 3					現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて、最近の研究動向との照らし合わせや調査方法上の課題の析出などを試みながら、検討を加える。	西暦奇数年度開講。02DM271, 02DMK14と同一。
02DMP12	多文化共生論3B	2	1.0	1 - 3	秋AB	火5		明石 純一	現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて報告をおこなう。	西暦偶数年度開講。02DMK15と同一。
02DMP15	政治とインターネット3A	1	1.0	1 - 3					The main purpose of this course is to provide students with an overview of theories regarding the use of the Internet for political purposes, including political campaigns as well as advocacy and social movements. We will be focusing mainly on theoretical uses of the Internet supplemented by case studies in certain national milieu and for designated social topics.	西暦奇数年度開講。02DME12と同一。英語で授業。
02DMP16	政治とインターネット3B	1	1.0	1 - 3					This course is a continuation of "Politics and Internet 3A" (02DMP15). During this course, the instructor will continue to provide students with an overview of theories regarding the use of the Internet for political purposes, including 21st century political campaigns as well as advocacy and social movements both using the Internet and about the Internet.	西暦奇数年度開講。02DME13と同一。英語で授業。
02DMP17	グローバル共生社会特別授業2	2	1.0	1 - 3	秋AB	火4		潘 亮	本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦偶数年度開講。02DJ371, 02DME05, 02DMK13, 02DMP08, 02DMQ32と同一。英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMP18	グローバル共生の政治と市民社会3A	2	1.0	1・2	春AB	金3		山本 英弘	日本の政治や市民社会に関する日本語の文献を講読し、その内容を深く理解するとともに、受講者自身の研究に活かしていく。そのため、受講者の研究関心に応じた文献をを精読したうえで、課題設定、研究方法、議論の含意等について批判的に検討する。	西暦偶数年度開講。OBBE400と同一。
02DMP19	グローバル共生の政治と市民社会3B	2	1.0	1・2	秋AB	金3		山本 英弘	日本の政治や市民社会に関する英語の文献を講読し、その内容を深く理解するとともに、受講者自身の研究に活かしていく。そのため、受講者の研究関心に応じた文献をを精読したうえで、課題設定、研究方法、議論の含意等について批判的に検討する。	西暦偶数年度開講。OBBE402と同一。
02DMP20	グローバル共生の政治と市民社会4A	2	1.0	1・2					“Japan's Politics and Civil Society 3”に引き続き、日本の政治や市民社会に関する英語の文献(“Japan's Politics and Civil Society 3”では取り上げなかったもの)を講読し、その内容を深く理解するとともに、受講者自身の研究に活かしていく。そのため、受講者の研究関心に応じた文献をを精読したうえで、課題設定、研究方法、議論の含意等について批判的に検討する。	OBBE403と同一。2020年度開講せず。
02DMP21	グローバル共生の政治と市民社会4B	2	1.0	1・2					「日本政治と市民社会3」に引き続き、日本の政治や市民社会に関する日本語の文献(「日本政治と市民社会3」では取り上げなかったもの)を講読し、その内容を深く理解するとともに、受講者自身の研究に活かしていく。そのため、受講者の研究関心に応じた文献をを精読したうえで、課題設定、研究方法、議論の含意等について批判的に検討する。	OBBE401と同一。2020年度開講せず。
02DMQ03	日本研究演習2A	2	1.0	1 - 3					移民・難民など現代の国際人口移動に関する現状、理論、政策、ガバナンスについて、政治学・国際関係論を中心に学際的に考察する。おもに、この分野における主要基本文献の精読と解題をおこなうほか、時事的なケーススタディをもとに議論を深める。	OBBE704と同一。2020年度開講せず。
02DMQ04	日本研究演習2B	2	1.0	1 - 3	春AB	火5		明石 純一	現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて報告をおこなう。	西暦偶数年度開講。02DME35と同一。
02DMQ07	ユーラシア地域研究演習1A	2	1.0	1 - 3	秋AB	応談		ダダバエフ ティムール	This class will focus on the analysis of Japanese diplomacy and relations between Japan and post-Soviet states of Eurasia. 旧ソ連諸国(ロシア、ウクライナ、ベラルーシに加え、コーカサス、中央アジア諸国)と日本の関係を取り上げ、この地域における日本の外交政策を分析する。	西暦偶数年度開講。02DME55と同一。
02DMQ08	ユーラシア地域研究演習1B	2	1.0	1 - 3	秋AB	応談		ダダバエフ ティムール	This class will focus on the analysis of Japanese diplomacy and relations between Japan and post-Soviet states of Eurasia. 旧ソ連諸国(ロシア、ウクライナ、ベラルーシに加え、コーカサス、中央アジア諸国)と日本の関係を取り上げ、この地域における日本の外交政策を分析する。	西暦偶数年度開講。02DME56と同一。
02DMQ09	ユーラシア地域研究演習2A	2	1.0	1 - 3					中央ユーラシア史に関する研究文献を講読し、その内容について議論する。	西暦奇数年度開講。02DM281, 02DME59と同一。
02DMQ10	ユーラシア地域研究演習2B	2	1.0	1 - 3					中央ユーラシア史、人類学に関する研究文献を講読し、その内容について議論する。	西暦奇数年度開講。02DM282, 02DME60と同一。
02DMQ11	ユーラシア地域研究演習3A	2	1.0	1 - 3					中央ユーラシア史またはユーラシア地域と日本の交流史に関する研究文献を講読し、その内容について議論する。中央ユーラシア史の展開に関しては、ユーラシア草原地帯における騎馬遊牧民集団の誕生から、シルクロードに代表される東西交易の展開、テュルク化とイスラーム化、モンゴル帝国・ティムール帝国の成立と展開、その後の中央ユーラシアの周縁化プロセスについて、最新の研究動向を把握し、個々の研究論文の内容について議論していく。また日本における中央アジア、ユーラシア理解、とくにシルクロード論争の展開などについて学び、その内容を議論する。	OBBE752と同一。2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMQ12	ユーラシア地域研究演習3B	2	1.0	1 - 3					中央ユーラシア史、人類学に関する研究文献を講読し、その内容について議論する。とくに19世紀以降のロシア帝国・ソ連期の中央ユーラシア諸国の政治、社会、経済、文化に関する歴史学、人類学を中心とした諸分野の研究論文を取り上げながら、その内容を議論する。またシルクロード探検事業から今日の中央アジアプラス日本の外交枠組み構築に至るまでの、19世紀後半以降の日本とユーラシア諸国との関係史について学ぶ。	OBBE753と同一。 2020年度開講せず。
02DMQ13	ユーラシア地域研究演習4A	2	1.0	1 - 3	秋ABC	応談		塩谷 哲史, ダダバエフ ティムール	ソ連解体後のユーラシア諸国・地域における国家建設と社会変成の文脈の中で、政治組織の生成と発展のあり方について議論する。とくに、ソ連解体以降の地域統合、資源の分配、歴史の記憶、マハツラを中心とした社会編制などを取り上げながら、ユーラシア諸国の政治組織の生成と発展のあり方について考察する。	西暦偶数年度開講。 OBBE750と同一。
02DMQ14	ユーラシア地域研究演習4B	2	1.0	1 - 3	秋ABC	応談		塩谷 哲史, ダダバエフ ティムール	ソ連解体後のユーラシア諸国・地域における政治組織の形成と解体過程について議論する。とくにソ連の遺産の政治的、社会的影響、国内政治エリート、社会内の諸アクターの役割、国際NGOの活動、マハツラを中心としたコミュニティ組織の社会的役割と政治参加などについて総合的に検討し、議論する。	西暦偶数年度開講。 OBBE751と同一。
02DMQ15	ユーラシアの国際関係A	1	1.0	1 - 3					日本による中央アジアプラス日本のイニシアティブとロシア、中国などが主導する上海協力機構に焦点をあて、これらの外交イニシアティブの利点、弱点、課題と将来を検討する。とくに韓国、中国の対中央アジア外交および援助のあり方との比較を通じて、日本の対中央アジア外交の特徴を明らかにするとともに、米国、EU、ロシアなど中央アジア諸国への関与と、日本の関与のあり方との相互性についても検討する。	OBBE757と同一。 2020年度開講せず。
02DMQ16	ユーラシアの国際関係B	1	1.0	1 - 3					This class will take the case studies of Japanese and Chinese foreign policy initiatives - Central Asia plus Japan and Shanghai Cooperation Organization - and analyze their successes, problems and challenges. 日本の「中央アジアプラス日本」のイニシアティブと上海協力機構に焦点をあて、これらの外交政策の利点、弱点、課題と将来を検討する。	西暦奇数年度開講。 02DM218, 02DME54と同一。 英語で授業。
02DMQ19	ユーラシアの経済A	2	1.0	1	秋AB	応談		田中 洋子	経済活動の基盤となる労働関係について比較歴史分析の視点から、少人数ないし個別面談の形で論文準備報告を行う。報告では、博士論文の一章分、ないし投稿論文、あるいは学会報告プロシーディングス等のフルペーパーを提出することを原則とする。これにもとづいてPPTで報告し、口頭報告、意見や質問に対する応答演習を行いつつ、コメントや全体での議論を通じて論文構成の長所および問題点についての認識を深める。論文の問題意識や論理構成、資料分析等について議論を通じてチェックするとともに、執筆のスケジューリング、国内外での学会報告の計画準備を確認しつつ、論文を一章ずつ書き上げていく。	西暦偶数年度開講。 OBBE614と同一。
02DMQ20	ユーラシアの経済B	2	1.0	1					経済活動の基盤となる労働関係について比較歴史分析の視点から、少人数ないし個別面談の形で論文準備報告を行う。報告では、博士論文の一章分、ないし投稿論文、あるいは学会報告プロシーディングス等のフルペーパーを提出することを原則とする。これにもとづいてPPTで報告し、口頭報告、意見や質問に対する応答演習を行いつつ、コメントや全体での議論を通じて論文構成の長所および問題点についての認識を深める。論文の問題意識や論理構成、資料分析等について議論を通じてチェックするとともに、執筆のスケジューリング、国内外での学会報告の計画準備を確認しつつ、論文を一章ずつ書き上げていく。	OBBE615と同一。 2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMQ23	ユーラシア世界史A	1	1.0	1 - 3	春AB	火2		塩谷 哲史	This course examines the establishment and development of the Soviet nationalities policy, and the nation-building process in Central Eurasia in 1920s and 1930s. The instructor will help students to develop an understanding of the new research trends of Modern Central Asian history. This course also aims at improving academic presentation skills.	西暦偶数年度開講。02DME57と同一。
02DMQ24	ユーラシア世界史B	1	1.0	1 - 3	秋AB	火2		塩谷 哲史	This course examines the establishment and development of the Soviet nationalities policy, and the nation-building process in Central Eurasia in 1920s and 1930s. The instructor will help students to develop an understanding of the new research trends of Modern Central Eurasian history, cultural anthropology and environmental studies.	西暦偶数年度開講。02DME58と同一。
02DMQ27	国際政治学1A	2	1.0	1					The main purpose of this course is to provide students with an overview of issues and topics related to the information society in the world in general and Japan and south-east Asia in particular.	西暦奇数年度開講。02DME10と同一。英語で授業。
02DMQ28	国際政治学1B	2	1.0	1					The main purpose of this course is to provide students with an overview of issues and topics related to the information society in the world in general and Japan and south-east Asia in particular.	西暦奇数年度開講。02DME11と同一。英語で授業。
02DMQ31	日本対外関係論A	2	1.0	1 - 3					本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦奇数年度開講。02DJ370, 02DME04, 02DMK12, 02DMP07と同一。
02DMQ32	日本対外関係論B	2	1.0	1 - 3	秋AB	火4		潘 亮	本講義においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。	西暦偶数年度開講。02DJ371, 02DME05, 02DMK13, 02DMP08, 02DMP17と同一。英語で授業。
02DMQ33	国際関係論A	2	1.0	1					本科目の目的は、様々な文献を通し国際関係の理論やアプローチに関する理解を深め、受講者の社会科学的分析能力をさらに身につけるところにある。また、受講者が関心のある研究対象についての報告、そして参加者との討論を通し、分析を進める上で核となる方法論や議論の組み立て方について共に考える。受講者は、他の学生の論文に対して、建設的なコメントをすることが求められる。	0BBE413と同一。2020年度開講せず。
02DMQ34	国際関係論B	2	1.0	1	春AB	火4		大友 貴史	本科目の目的は、様々な文献を通し国際関係の理論やアプローチに関する理解を深め、受講者の社会科学的分析能力をさらに身につけるところにある。また、受講者は関心のある研究対象についての報告、そして参加者との討論を通し、分析を進める上で核となるアイデアをより効果的に伝える訓練を行う。	西暦偶数年度開講。0BBE415と同一。
02DMQ41	教育政策論A	2	1.0	1					第二次世界大戦以降、特に同大戦に深く関わった国や地域の歴史教育について、政治的・社会的文脈の変遷とともに考察する。Discuss history education in the post-WWII period particularly in the countries which were heavily involved in the war.	西暦奇数年度開講。02DM108, 02DME32と同一。
02DMQ42	教育政策論B	2	1.0	1	春AB	火2		柴田 政子	第二次世界大戦以降、特に同大戦に深く関わった国や地域の歴史教育について、政治的・社会的文脈の変遷とともに考察する。Discuss history education in the post-WWII period particularly in the countries which were heavily involved in the war.	西暦偶数年度開講。02DME33と同一。

専門科目(国際日本人文科学学位プログラム)(平成27年度以降入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMR01	比較東洋思想3A	2	1.0	1 - 3					湯浅泰雄の身体論に焦点を当てながら、その日本の特色について考察する。	西暦奇数年度開講。02DM124, 02DML02と同一。
02DMR02	比較東洋思想3B	2	1.0	1 - 3	秋AB	木4		佐藤 貢悦	日中韓の比較文化論に関する諸問題について考察する。	02DM141, 02DMK02と同一。
02DMR03	日本社会と宗教3A	2	1.0	1 - 3					奇数年度(A)は、「宗教と他界」の領域、偶数年度(B)は、「宗教と社会」の領域に焦点を絞り、それぞれのトピック、課題、方法を概観する。教員の講義を軸に、随時、学生に発表を求めると。	西暦奇数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMR04	日本社会と宗教3B	2	1.0	1 - 3	春AB	火6		津城 寛文	奇数年度(A)は、「宗教と世界」の領域、偶数年度(B)は、「宗教と社会」の領域に焦点を絞り、それぞれのトピック、課題、方法を概観する。教員の講義を軸に、随時、学生に発表を求める。	西暦偶数年度開講。
02DMR05	朝鮮半島と日中の思想文化2A	2	1.0	1 - 3					朝鮮半島についての研究文献を講読し、その思想と文化について議論する。	西暦奇数年度開講。
02DMR06	朝鮮半島と日中の思想文化2B	2	1.0	1 - 3	春AB	火2		巖 錫仁	朝鮮半島についての研究文献を講読し、その思想と文化について議論する。	西暦偶数年度開講。
02DMR07	日本文化と経済思想3A	2	1.0	1 - 3	秋AB	月5		平山 朝治	天皇制のなかに分権的社会経済を支える自由主義の伝統を見出すことをめざす。女系原理と女帝の進化、一休の恋人、讓位慣行進化論、長屋王の聖徳太子、光明皇后と鑑真の聖徳太子、室町の十字架—足利義嗣と一休宗純、水戸学と自由の伝統、といった論点について、『平山朝治著作集 第5巻 天皇制を読み解く』(中央経済社、2009年)や、拙著書評論文「水戸学に自由の伝統を発掘 吉田俊純著『水戸学の研究：明治維新史の再検討』(明石書店、二〇一六年五月)」（ http://hdl.handle.net/2241/00146873 ）をテキストとして検討する。	西暦偶数年度開講。 0BBE153と同一。
02DMR09	日本文化と世界2A	1	1.0	1・2	春AB	火4		渡部 宏樹	メディア研究、文化研究に必要な文献の購読を行う。2020年春学期は宮崎裕助『ジャック・デリダー死後の生を与える』、ロドルフ・ガシエ『脱構築のカー来日講演と論文』、入江哲朗『火星の旅人』などを購読する。	西暦偶数年度開講。
02DMR10	日本文化と世界2B	1	1.0	1・2					メディア研究、文化研究に必要な文献の購読を行う。2020年春学期は宮崎裕助『ジャック・デリダー死後の生を与える』、ロドルフ・ガシエ『脱構築のカー来日講演と論文』、入江哲朗『火星の旅人』などを購読する。	西暦奇数年度開講。
02DMR11	比較東洋思想4A	0	1.0	1 - 3					日中韓の比較文化論に関する文献を購読する。	西暦奇数年度開講。 02DM173と同一。
02DMR12	比較東洋思想4B	0	1.0	1 - 3					日中韓の比較文化論に関する文献を購読する。	西暦奇数年度開講。 02DM174と同一。
02DMS01	比較日本文学論1A	2	1.0	1 - 3					日本文学の翻訳をめぐる諸問題について考察する。	西暦奇数年度開講。 02DM177、02DMN07と同一。
02DMS02	比較日本文学論1B	2	1.0	1 - 3					比較文学の手法を用いて、日本近・現代文学の分析、考察を行う。	西暦奇数年度開講。 02DM178と同一。
02DMS03	比較日本文学論2A	2	1.0	1 - 3	春AB	木4		平石 典子	比較文学・文化の手法を用いて、日本文学を考察する。	西暦偶数年度開講。
02DMS04	比較日本文学論2B	2	1.0	1 - 3	秋AB	木4		平石 典子	比較文学の手法を用いて、日本近・現代文学の分析、考察を行う。	西暦偶数年度開講。
02DMS09	比較日本文化論1A	2	1.0	1 - 3					受講生の研究関心のあることがらについて発表形式でおこなう。	西暦奇数年度開講。 02DM115と同一。
02DMS10	比較日本文化論1B	2	1.0	1 - 3					日本の生活風習を日本文学との関連で理解を深めていく。受講生の興味・関心に基づいたテーマをとりあげ演習形式ですすめる。	西暦奇数年度開講。 02DM116と同一。
02DMS11	比較日本文化論2A	2	1.0	1 - 3	春AB	水6		石塚 修	日本文学・日本文化について、受講生の関心のあることがらについて発表形式でおこなう。	西暦偶数年度開講。
02DMS12	比較日本文化論2B	2	1.0	1 - 3	秋AB	水6		石塚 修	日本文学・文化について、受講生の関心のあることがらについて発表形式でおこなう。	西暦偶数年度開講。
02DMS13	比較日本文学論3	2	1.0	1 - 3	秋AB	火5		江口 真規	受講者の関心に基づいた日本の文学作品や文化事象についての発表と討議を行い、日本の文学・文化を比較の視点を通して学ぶ。	西暦偶数年度開講。
02DMT09	メディア社会研究2A	1	1.0	1 - 3					本講義は、ネットワーク社会に関する研究の方法と理論を学び、研究の実践とそれに関連する基礎知識の習得を目的とする。主にメディア研究の社会的および社会心理学的な研究を対象とし、デジタル技術の進歩に伴う社会や人間生活への影響を検討する。	西暦奇数年度開講。 02DM211、02DMN08と同一。
02DMT10	メディア社会研究2B	1	1.0	1 - 3					本講義は、ネットワーク社会に関する研究の方法と理論を学び、研究の実践とそれに関連する基礎知識の習得を目的とする。主に社会的および社会心理学的な研究を対象とし、ネットワーク化に伴うシステムや市民生活への影響を検討する。	西暦奇数年度開講。 02DM212、02DMN10と同一。 英語で授業。
02DMT11	メディア思想と日本社会2A	2	1.0	1 - 3					国家のブランド力たる真のソフト・パワーとは? 本講義では昨今のクールジャパン論をはじめとする文化発信政策について検証します。	西暦奇数年度開講。 02DMN03と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
02DMT12	メディア思想と日本社会2B		2	1.0	1 - 3	秋C	火4,5		白戸 健一郎	複数の事例から、広告の効果と一般的宣伝論について学ぶ。	西暦偶数年度開講。02DMM04と同一。

専門科目(日本語教育学学位プログラム)(平成27年度以降入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMW13	言語文化研究演習1A		2	1.0	1				日本語を中心として、日本語らしさの文法形式と談話や、それを分析するための言語研究や、日本語学習者に焦点を当てた学習者の日本語観察や、日本語教師の視点からの教授法など、日本語教育の応用を目指した研究を、先行研究を踏まえて、毎回決められた受講生が発表する。それを受けて、参加者間で議論を行う。発表者には、博士論文完成のため、他の受講者と徹底的な議論を行えるような、レジュメ作成技術を求め、受講者には批判的な意見を述べられるようなトレーニングの場とする。	0BBE814と同一。 2020年度開講せず。
02DMW14	言語文化研究演習1B		2	1.0	1				日本語を中心として、日本語らしさの文法形式と談話や、それを分析するための言語研究や、日本語学習者に焦点を当てた学習者の日本語観察や、日本語教師の視点からの教授法など、日本語教育の応用を目指した研究を、先行研究を踏まえて、毎回決められた受講生が発表する。それを受けて、参加者間で議論を行う。発表者には、博士論文完成のため、他の受講者と徹底的な議論を行えるような、レジュメ作成技術を求め、受講者には批判的な意見を述べられるようなトレーニングの場とする。「言語と行動理論研究1A」とは異なるトピックスを扱う。	0BBE815と同一。 2020年度開講せず。
02DMW15	言語文化研究演習2A		2	1.0	2	春AB	金3	小野 正樹	日本語を中心として、日本語らしさの文法形式と談話の流れや、それを分析するための言語研究や、日本語学習者に焦点を当てた学習者の日本語観察や、日本語教師の視点からの教授法など、日本語教育の応用を目指した研究を、先行研究を踏まえて、毎回決められた受講生が発表する。それを受けて、参加者間で議論を行う。発表者には、博士論文完成のため、他の受講者と徹底的な議論を行えるような、ハンドアウト作成技術を求め、受講者には批判的な意見を述べられるようなトレーニングの場とする。「言語と行動理論研究1A, 1B」とは異なるトピックスを扱う。	0BBE816と同一。
02DMW16	言語文化研究演習2B		2	1.0	2	秋AB	金3	小野 正樹	日本語を中心として、日本語らしさの文法形式と談話の流れや、それを分析するための言語研究や、日本語学習者に焦点を当てた学習者の日本語観察や、日本語教師の視点からの教授法など、日本語教育の応用を目指した研究を、先行研究を踏まえて、毎回決められた受講生が発表する。それを受けて、参加者間で議論を行う。発表者には、博士論文完成のため、他の受講者と徹底的な議論を行えるような、ハンドアウト作成技術を求め、受講者には批判的な意見を述べられるようなトレーニングの場とする。「言語と行動理論研究1A, 1B, 2A」とは異なるトピックスを扱う。	0BBE817と同一。
02DMW17	言語表現研究演習1A		2	1.0	1				日本語教育に関連した文章・談話研究について理論および研究方法について知見を深め、日本語学習者および日本語母語話者の書いた日本語の文章・談話を分析・記述する能力を身につけることを目標とする。特に、日本語の文章表現を対象とした研究の中で基礎的な研究を中心に取り上げる。授業では、関連領域の文献も含めて読み、研究の視野を広める。文献を読んで研究内容を理解した上で、研究の意義や背景、問題点などを批判的に検討する。授業方法としては、日本語学および日本語教育、言語学の文章・談話関係の文献を精読し、ディスカッションを行う。文献講読は分担を決め、発表者は概要をレジュメにまとめて説明する。講読した文献の内容について重要点と自分の意見をまとめたレポートを毎回課す。さらに、各自の研究テーマについて、論文講読、文章データ分析、発表、論文作成も適宜行う。	0BBE810と同一。 2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMW18	言語表現研究演習1B	2	1.0	1					日本語教育に関連した文章・談話研究について理論および研究方法について知見を深め、日本語学習者および日本語母語話者の書いた日本語の文章・談話を分析・記述する能力を身につけることを目標とする。特に、日本語の文章表現を対象とした研究の中で応用的な研究を中心に取り上げる。授業では、関連領域の文献も含めて読み、研究の視野を広める。文献を読んで研究内容を理解した上で、研究の意義や背景、問題点などを批判的に検討する。授業方法としては、日本語学および日本語教育、言語学の文章・談話関係の文献を精読し、ディスカッションを行う。文献講読は分担を決め、発表者は概要をレジュメにまとめて説明する。「言語表現研究1A」とは異なるトピックスを扱う。	OBBE811と同一。 2020年度開講せず。
02DMW19	言語表現研究演習2A	2	1.0	2	秋C	応談		木戸 光子	日本語教育に関連した文章・談話研究について理論および研究方法について知見を深め、日本語学習者および日本語母語話者の書いた日本語の文章・談話を分析・記述する能力を身につけることを目標とする。特に、日本語の書き言葉を対象とした研究の中で基礎的な研究を中心に取り上げる。授業では、関連領域の文献も含めて読み、研究の視野を広める。文献を読んで研究内容を理解した上で、研究の意義や背景、問題点などを批判的に検討する。授業方法としては、日本語学および日本語教育、言語学の文章・談話関係の文献を精読し、ディスカッションを行う。文献講読は分担を決め、発表者は概要をレジュメにまとめて説明する。「言語表現研究1A, 1B」とは異なるトピックスを扱う。	西暦偶数年度開講。 OBBE812と同一。
02DMW20	言語表現研究演習2B	2	1.0	2	秋C	応談		木戸 光子	日本語教育に関連した文章・談話研究について理論および研究方法について知見を深め、日本語学習者および日本語母語話者の書いた日本語の文章・談話を分析・記述する能力を身につけることを目標とする。特に、日本語の書き言葉を対象とした研究の中で応用的な研究を中心に取り上げる。授業では、関連領域の文献も含めて読み、研究の視野を広める。文献を読んで研究内容を理解した上で、研究の意義や背景、問題点などを批判的に検討する。授業方法としては、日本語学および日本語教育、言語学の文章・談話関係の文献を精読し、ディスカッションを行う。文献講読は分担を決め、発表者は概要をレジュメにまとめて説明する。「言語表現研究1A, 1B, 2A」とは異なるトピックスを扱う。	西暦偶数年度開講。 OBBE813と同一。
02DMW21	社会言語研究演習1A	2	1.0	1					会話分析の研究に対する批判の一つとして、順番取りや行為連鎖などとフォカスがあまりにもマイクロのせいで、その会話が置かれているいわゆる「コンテキスト」を見落とすがちだということである。会話分析では「コンテキスト」という概念がどのように捉えられるか、またコンテキストに関わる情報を記述しようとするエスノグラフィー的な研究手法とどのような関係を持つ可能性があるのかについて考えるために、会話分析とエスノグラフィーの相性について論じる研究や、会話分析とエスノグラフィーの手法を併用する「マイクロエスノグラフィー」の研究を取り上げる。授業では対象文献の内容を丁寧に確認し、ディスカッションをすることによって理解力を深める。また、受講生は各自でデータを集め、マイクロエスノグラフィー的な手法を用いて小規模な研究プロジェクトを遂行する。最後にその成果をレポートにまとめて提出する。	OBBE826と同一。 2020年度開講せず。 奇数年の春ab、月6
02DMW22	社会言語研究演習1B	2	1.0	1					エスノメソドロジー的な研究によって、第2言語学習に関する研究に対してどのような見解が提供できるかを検討していきながら、特にSacks (1972a, 1972b, 1979, 1995)によって提唱され、Watson (1978, 1997)やJanyusi (1984)、Hester & Eglin (1997)、Stokoe (2012)、Bushnell (2014)、Fitzgerald & Housley (2015)などによってさらに展開されてきている成員カテゴリー化分析の基本的な考え方や分析の技術を身につけることを狙う。	OBBE827と同一。 2020年度開講せず。 奇数年の秋ab、月6

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMW23	社会言語研究演習2A	2	1.0	2	春AB	月6		ブッシュネル ケード コンラン	ことばと行為のマイクロ分析研究2Aと2Bでは、1Aと1Bなどで身につけた分析技術を駆使して、一学年を通して教員と受講生全員やその他の協力研究者、院生で分担して英語でオリジナルな研究を論文の形にまとめて共著で実際に投稿することを目標とする。2Aでは特に先行研究を吟味して自分たちで執筆する論文に使うデータや研究課題を検討しつつ毎週の発表で進捗状況を報告していく。	西暦偶数年度開講。 OBBE828と同一。 偶数年の春ab、月6
02DMW24	社会言語研究演習2B	2	1.0	2	秋AB	月6		ブッシュネル ケード コンラン	ことばと行為2Bでは、2Aから進めてきている研究を継続しさらに発展させ、共同で一本の論文を英語で執筆する。最終的には適切な投稿先を決め実際に投稿してみることを目指す。	西暦偶数年度開講。 OBBE829と同一。 偶数年の秋ab、月6
02DMW29	日本語教育プログラム演習1A	2	1.0	1					受講生は、「日本語教育学プログラム演習1B」をふまえ、自分自身の博士論文完成を目的として、日本語教育学に関わる研究を、Power pointなどを用いた口頭発表と、ポスター形式で発表する。発表内容は「日本語教育学プログラム演習1A」「同1B」と異なるものとする。初めに、口頭発表で研究内容をアピールし、ポスターで詳細に議論する形式をとる。教員・院生が一体となって議論を行うことで、課題設定、分析方法の適性、現象の結果の真偽等を議論し、研究の深化を図る。受講者には、口頭発表の技術をしっかりと理解することを求める。加えて、学会などの運営手法も学ぶことも求め、プログラム作成、司会も担当する。	OBBE802と同一。 2020年度開講せず。
02DMW30	日本語教育プログラム演習1B	2	1.0	1					受講生は、「日本語教育学プログラム演習2A」をふまえ、自分自身の博士論文完成を目的として、日本語教育学に関わる研究を、Power pointなどを用いた口頭発表と、ポスター形式で発表する。発表内容は「日本語教育学プログラム演習1A」「同1B」「同2A」と異なるものとする。初めに、口頭発表で研究内容をアピールし、ポスターで詳細に議論する形式をとる。教員・院生が一体となって議論を行うことで、課題設定、分析方法の適性、現象の結果の真偽等を議論し、研究の深化を図る。受講者には、口頭発表の技術をしっかりと理解することを求める。加えて、学会などの運営手法も学ぶことも求め、プログラム作成、司会も担当する。	OBBE803と同一。 2020年度開講せず。
02DMW31	日本語教育プログラム演習2A	2	1.0	2					学生が、研究発表の場を運営し、各自発表を行う。	2020年度開講せず。
02DMW32	日本語教育プログラム演習2B	2	1.0	2					大学院生が、各自の研究発表を行う。	2020年度開講せず。
02DMW33	日本語教育プログラム演習3A	2	1.0	3	春AB	水4,5		木戸 光子, 小野正樹, 井出 里咲子, 高木 智世, ブッシュネルケード コンラン, 関崎 博紀, ルートヴァンパーレン	受講生は、自分自身の博士論文完成を目的として、日本語教育学に関わる研究を、Power pointなどを用いた口頭発表と、ポスター形式で発表する。初めに、口頭発表で研究内容をアピールし、ポスターで詳細に議論する形式をとる。教員・院生が一体となって議論を行うことで、課題設定、分析方法の適性、現象の結果の真偽等を議論し、研究の深化を図る。受講者には、口頭発表の技術をしっかりと理解することを求める。加えて、学会などの運営手法も学ぶことも求め、プログラム作成、司会も担当する。	西暦偶数年度開講。 OBBE800と同一。
02DMW34	日本語教育プログラム演習3B	2	1.0	3	秋AB	火4,5		木戸 光子, 小野正樹, 井出 里咲子, 高木 智世, ブッシュネルケード コンラン, 関崎 博紀, ルートヴァンパーレン	受講生は、「日本語教育学プログラム演習1A」をふまえ、自分自身の博士論文完成を目的として、日本語教育学に関わる研究を、Power pointなどを用いた口頭発表と、ポスター形式で発表する。発表内容は「日本語教育学プログラム演習1A」と異なるものとする。初めに、口頭発表で研究内容をアピールし、ポスターで詳細に議論する形式をとる。教員・院生が一体となって議論を行うことで、課題設定、分析方法の適性、現象の結果の真偽等を議論し、研究の深化を図る。受講者には、口頭発表の技術をしっかりと理解することを求める。加えて、学会などの運営手法も学ぶことも求め、プログラム作成、司会も担当する。	西暦偶数年度開講。 OBBE801と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMW37	相互行為分析研究1A	2	1.0	1					社会学者のHarvey Sacks, Emanuel Schegloff, Gail Jeffersonらによって開発された、相互行為組織の研究法である「会話分析」において、最も重要な分析概念の一つである「行為形成(action formation)」に関連する主要文献を精読し、議論することによって正確な理解を深める。また、各論文における記述や主張が、実際の日本語における社会的行為の産出と理解についての記述にどのように適用可能かを検討する。これらの作業を通して、社会的行為を産出し、理解するというのはいかなることかという根源的問いに対する洞察を深める。	OBBE306と同一。 2020年度開講せず。
02DMW38	相互行為分析研究1B	2	1.0	1					社会学者のHarvey Sacks, Emanuel Schegloff, Gail Jeffersonらによって開発された、相互行為組織の研究法である「会話分析」の理論的背景・視点・方法論的意義等について、重要文献を中心に精読し、議論することによって正確な理解を深める。また、その理解を踏まえた上で、モデルとなる先行研究論文を具体的に検討することを通して、会話分析的研究として論文を作成する際のポイントについて学ぶ。さらに、受講生自身が執筆中の研究論文について、相互に検討・討議し、質の高い投稿論文に仕上げる技術を身につける。	OBBE307と同一。 2020年度開講せず。
02DMW39	相互行為分析研究2A	2	1.0	2	春AB	金5		高木 智世	社会学者のHarvey Sacks, Emanuel Schegloff, Gail Jeffersonらによって開発された、相互行為組織の研究法である「会話分析」において重要な分析概念を提示した基本文献を精読し、議論することによって、会話分析の手法について正確な理解を深める。また、各論文における記述や主張が、実際の日本語における社会的行為の産出と理解についての記述にどのように適用可能かを検討する。これらの作業を通して、社会的行為を産出し、理解するというのはいかなることかという根源的問いに対する洞察を深める。「相互行為分析研究1A」とは異なるトピックスを扱う。	西暦偶数年度開講。 OBBE308と同一。
02DMW40	相互行為分析研究2B	2	1.0	2	秋AB	金5		高木 智世	社会学者のHarvey Sacks, Emanuel Schegloff, Gail Jeffersonらによって開発された、相互行為組織の研究法である「会話分析」の理論的背景・視点・方法論的意義等について、重要文献を中心に精読し、議論することによって正確な理解を深める。また、その理解を踏まえた上で、モデルとなる先行研究論文を具体的に検討することを通して、会話分析的研究として論文を作成する際のポイントについて学ぶ。さらに、受講生自身が執筆中の研究論文について、相互に検討・討議し、質の高い投稿論文に仕上げる技術を身につける。「相互行為分析研究1B」とは異なるトピックスを扱う。	西暦偶数年度開講。 OBBE309と同一。
02DMW41	日常会話のエスノグラフィー1A	2	1.0	1					文化社会的な場に埋め込まれた実践行動としてのコミュニケーションを、言語人類学の手法を通して記述/解釈する方法について学ぶ。また英語と日本語のエスノグラフィーのケーススタディ論文を読み、それを土台として議論を行う力を養う。受講者各自がデータ収集を行う(フィールドワークと相互行為の文字化)体験を通して、自律的にコミュニケーションを分析する方法を学ぶ。	OBBE302と同一。 2020年度開講せず。
02DMW42	日常会話のエスノグラフィー1B	2	1.0	1					文化社会的な場に埋め込まれた実践行動としてのコミュニケーションを、言語人類学の手法を通して記述/解釈する方法について学ぶ。また英語と日本語のエスノグラフィーのケーススタディ論文を読み、それを土台として議論を行う力を養う。受講者各自がデータ収集を行う(フィールドワークと相互行為の文字化)体験を通して、自律的にコミュニケーションを分析する方法を学ぶ。「コミュニケーションの人類学1A」とは異なるトピックスを扱う。	OBBE303と同一。 2020年度開講せず。
02DMW43	日常会話のエスノグラフィー2A	2	1.0	2	春AB	木4		井出 里咲子	文化社会的な場に埋め込まれた実践行動としてのコミュニケーションを、言語人類学の手法を通して記述/解釈する方法について学ぶ。また英語と日本語のエスノグラフィーのケーススタディ論文を読み、それを土台として議論を行う力を養う。受講者各自がデータ収集を行う(フィールドワークと相互行為の文字化)体験を通して、自律的にコミュニケーションを分析する方法を学ぶ。「コミュニケーションの人類学1A, 1B」とは異なるトピックスを扱う。	西暦偶数年度開講。 OBBE304と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DMW44	日常会話のエスノグラフィー2B	2	1.0	2	秋AB	木4		井出 里咲子	文化社会的な場に埋め込まれた実践行動としてのコミュニケーションを、言語人類学の手法を通して記述/解釈する方法について学ぶ。また英語と日本語のエスノグラフィのケーススタディ論文を読み、それを土台として議論を行う力を養う。受講者各自がデータ収集を行う(フィールドワークと相互行為の文字化)体験を通して、自律的にコミュニケーションを分析する方法を学ぶ。「コミュニケーションの人類学1A, 1B, 2A」とは異なるトピックスを扱う。	西暦偶数年度開講。OBBE305と同一。

専門基礎科目(専攻共通科目)(平成26年度以前入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM001	プロジェクト演習I	2	1.0	1	通年	応談			受講者は、自らの研究プロジェクトを指導教員(複数)との討議や協議の中で、作成し、そのプロポーザルを発表する。基本的な議論の枠組み、主要な先行研究、主要な素材を提示するとともに、今後の原作的な研究のための研究計画を提示する。	
02DM002	プロジェクト演習II	2	1.0	2	通年	応談			受講者は、自らの研究プロジェクトの中間報告を、指導教員(複数)との討議や協議の中で、作成し、その研究成果を発表する。基本的な議論の枠組み、主要な先行研究と自らの議論との違いと共通点、主要な素材の分析を提示するとともに、今後の原作的な研究のための執筆計画を提示する。	
02DM003	プロジェクト演習III	2	1.0	3	通年	応談			受講者は、自らの研究プロジェクトに基づいた博士論文の予備的論文を、指導教員(複数)との討議や協議の中で、作成し、その研究成果を発表する。基本的な議論の枠組みの展開、主要な先行研究との関連、主要な素材分析結果、学問的な諸発見と貢献を提示するとともに、博士論文の中核となる諸章を発表する。	

基礎科目(平成26年度以前入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM004	現代日本研究の方法	4	1.0	1・2	春C	集中			この講義では、現代日本の研究をするための基礎的方法論・問題の設定方法(視点)を学ぶ。	H23年度以降入学者要望があれば英語で授業

専門科目(国際比較研究領域)(平成26年度以前入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM108	比較日本社会IIB	2	1.0	1・2					第二次世界大戦以降、特に同大戦に深く関わった国や地域の歴史教育について、政治的・社会的文脈の変遷とともに考察する。Discuss history education in the post-WWII period particularly in the countries which were heavily involved in the war.	西暦奇数年度開講。02DME32, 02DMQ41と同一。
02DM111	比較日本経済IIA	2	1.0	1・2					工業化・資本主義化・経済発展の歴史のプロセスと、それを支える労働をはじめとする社会経済システムの関係のあり方について、日本と諸外国との国際比較を通じて検討する。	文献を読んで議論しつつ、論文執筆・学会報告への助言を行う。西暦奇数年度開講。02DMP03と同一。論文草稿提出により評価する。
02DM112	比較日本経済IIB	2	1.0	1・2	春AB	応談		田中 洋子	各国の労働システムをはじめとする社会経済体制について、参加者一人一人が報告をし、それを題材として国際比較の観点から議論を行う。	文献を読んで議論しつつ、論文執筆・学会報告への助言を行う。02DMP04と同一。論文草稿提出で評価する。
02DM115	比較日本文化IIA	2	1.0	1・2					受講生の研究関心のあることがらについて発表形式でおこなう。	西暦奇数年度開講。02DMS09と同一。
02DM116	比較日本文化IIB	2	1.0	1・2					日本の生活風習を日本文学との関連で理解を深めていく。受講生の興味・関心に基づいたテーマをとりあげ演習形式ですすめる。	西暦奇数年度開講。02DMS10と同一。
02DM124	比較東洋思想IIB	2	1.0	1・2					湯浅泰雄の身体論に焦点を当てながら、その日本の特色について考察する。	西暦奇数年度開講。02DML02, 02DMR01と同一。
02DM127	比較日本文学IIA	0	1.0	1・2					比較文学の手法を用いて、日本近代文学の分析、考察を行う。	西暦奇数年度開講。英語で授業。
02DM128	比較日本文学IIB	0	1.0	1・2					比較文学の手法を用いて、日本現代文学の分析、考察を行う。	「英」西暦奇数年度開講。英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM141	比較東洋思想IIA	2	1.0	1 - 3	秋AB	木4		佐藤 貢悦	日中韓の比較文化論に関する諸問題について考察する。	02DMK02, 02DMR02と同一。

専門科目(国際交流領域)(平成26年度以前入学対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM211	情報メディア交流IIA	1	1.0	1・2					本講義は、ネットワーク社会に関する研究の方法と理論を学び、研究の実践とそれに関連する基礎知識の習得を目的とする。主にメディア研究の社会学および社会心理学的な研究を対象とし、デジタル技術の進歩に伴う社会や人間生活への影響を検討する。	西暦奇数年開講。02DMM08, 02DMT09と同一。
02DM212	情報メディア交流IIB	1	1.0	1・2					本講義は、ネットワーク社会に関する研究の方法と理論を学び、研究の実践とそれに関連する基礎知識の習得を目的とする。主に社会学および社会心理学的な研究を対象とし、ネットワーク化に伴うシステムや市民生活への影響を検討する。	西暦奇数年開講。02DMM10, 02DMT10と同一。英語で授業。
02DM218	ユーラシア交流IIB	1	1.0	1・2					This class will take the case studies of Japanese and Chinese foreign policy initiatives – Central Asia plus Japan and Shanghai Cooperation Organization – and analyze their successes, problems and challenges. 日本の「中央アジアプラス日本」のイニシアティブと上海協力機構に主点をあて、これらの外交政策の利点、弱点、課題と将来を検討する。	西暦奇数年開講。02DME54, 02DMQ16と同一。英語で授業。
02DM221	国際人的移動・交流IIA	0	1.0	1・2					国際人口移動に関して理論と実証の両面から学術的検討を試みる。おもに、この分野における主要基本文献の精読と解題をおこなう。	西暦奇数年開講。
02DM222	国際人的移動・交流IIB	0	1.0	1・2					国境を越える人の移動に関する時事問題についての議論をおこなう。	西暦奇数年開講。
02DM227	国際情報社会論A	0	1.0	1・2					The main goal of this course is to provide students with the opportunity to conduct in-depth analyses of key topics in the information society debate from the perspective of international politics. What is the relationship between international politics and the information society? What role do various international organizations play in the global information society? Our class will delve into selected topics including, but not limited to, communications and technological dynamics in international politics, digital divide theories, private companies and data/privacy security, and social network utilization.	西暦奇数年開講。英語で授業。
02DM228	国際情報社会論B	0	1.0	1・2					The main goal of this course is to provide students with the opportunity to conduct in-depth analyses of key topics in the information society debate from the perspective of international politics. What is the relationship between international politics and the information society? What role do various international organizations play in the global information society? Our class will delve into selected topics including, but not limited to, communications and technological dynamics in international politics, digital divide theories, private companies and data/privacy security, and social network utilization.	西暦奇数年開講。英語で授業。
02DM231	ユーラシア世界史IIA	0	1.0	1・2					This course examines the establishment and development of the Soviet nationalities policy, and the nation-building process in Central Eurasia in 1920s and 1930s. The instructor will help students to develop an understanding of the new research trends of Modern Central Asian history. This course also aims at improving academic presentation skills.	西暦奇数年開講。英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM232	ユーラシア世界史IIB	0	1.0	1・2					This course examines the establishment and development of the Soviet nationalities policy, and the nation-building process in Central Eurasia in 1920s and 1930s. The instructor will help students to develop an understanding of the new research trends of Modern Central Eurasian history, cultural anthropology and environmental studies.	西暦奇数年度開講。 英語で授業。

専門科目(日本語教育領域)(平成26年度以前入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM301	日本語教育学IA	0	1.0	1・2	春AB	応談			日本語を中心に有効なコミュニケーションの方法および論文作成について、語用論の観点から講義を行い、参加者とともに分析・調査方法を行う。	予め決められた発表者が、毎回自分の研究課題を掘り下げ発表し、議論する。 西暦偶数年度開講。
02DM305	日本語教育学IIIA	0	1.0	1・2					文章構造研究が日本語教育にどのように貢献できるかという点から文章論の理論や方法について検討する。	西暦奇数年度開講。 2015年度以降は、国際日本研究専攻博士後期課程の日本語教育学学位プログラムで開講される「02DMW17 言語表現研究演習1A(春AB水2時限)」を参照すること。受講希望者は授業初日までに担当教員に必ず連絡すること。
02DM306	日本語教育学IIIB	0	1.0	1・2					文章構造研究が日本語教育にどのように貢献できるかという点から文章論の理論や方法について検討する。	西暦奇数年度開講。 2015年度以降は、国際日本研究専攻博士後期課程の日本語教育学学位プログラムで開講される「02DMW18 言語表現研究演習1B(秋AB水2時限)」を参照すること。受講希望者は授業初日までに担当教員に必ず連絡すること。
02DM309	日本語教育学VA	0	1.0	1・2					第2言語学習に関する社会文化的なアプローチを概観しながら、社会文化的な観点を取り入れたリサーチプロジェクトを計画し、完成させる。	西暦奇数年度開講。
02DM310	日本語教育学VB	0	1.0	1・2					会話分析・成員カテゴリー分析の演習を行うことによって、会話分析や成員カテゴリー分析に関する知識を増やししながら、分析技能の向上を狙う。	西暦奇数年度開講。

専門科目(領域共通)(平成26年度以前入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM411	グローバル・アジアと日本I	1	1.0	1-3					日本とアジアのかかわりの歴史的経験、アジア太平洋協力の現状と課題、将来展望としての「アジア共同体」の道筋と日本の役割等について、学外の専門家、実務家による講義と討論により、知見と理解を深める。(寄付講座として開設)	詳細後日周知。 西暦奇数年度開講。

演習科目(国際比較研究領域)(平成26年度以前入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM157	比較日本社会演習IIA	2	1.0	1-3					国家形成や社会変動と教育の関係について、参加者の研究領域等具体的題材を通じて議論し、比較考察する。Comparative analysis about the relationship between education and social transformation in the process of state formation through in-class discussion.	西暦奇数年度開講。 02DMK09, 02DMP09と同一。
02DM158	比較日本社会演習IIB	0	1.0	1-3					第二次世界大戦後の歴史教育について、参加者の研究領域等具体的題材を通じて議論し、比較考察する。Comparative analysis about history education in post-World War II through discussion by participants.	西暦奇数年度開講。
02DM165	比較日本文化演習IIA	0	1.0	1-3					日本の生活風習を日本文学との関連で理解を深めていく。受講生の興味・関心に基づいたテーマをとりあげ演習形式ですすめる。	西暦奇数年度開講。
02DM166	比較日本文化演習IIB	0	1.0	1-3					日本の生活風習を日本文学との関連で理解を深めていく。受講生の興味・関心に基づいたテーマをとりあげ演習形式ですすめる。	西暦奇数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM173	比較東洋思想演習IIA	0	1.0	1-3					日中韓の比較文化論に関する文献を購読する。	西暦奇数年度開講。02DMR11と同一。
02DM174	比較東洋思想演習IIB	0	1.0	1-3					日中韓の比較文化論に関する文献を購読する。	西暦奇数年度開講。02DMR12と同一。
02DM175	比較日本文学演習IA	0	1.0	1-3	春AB	応談			比較文学・文化の手法を用いて、受講者がそれぞれテーマを設定し、口頭発表とディスカッションを行う。	西暦偶数年度開講。
02DM176	比較日本文学演習IB	2	1.0	1-3	秋AB	応談				西暦偶数年度開講。
02DM177	比較日本文学演習IIA	2	1.0	1-3					日本文学の翻訳をめぐる諸問題について考察する。	西暦奇数年度開講。02DMN07, 02DMS01と同一。
02DM178	比較日本文学演習IIB	2	1.0	1-3					比較文学の手法を用いて、日本近・現代文学の分析、考察を行う。	西暦奇数年度開講。02DMS02と同一。

演習科目(国際交流領域)(平成26年度以前入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM253	国際外交関係演習IIA	0	1.0	1-3					本演習においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。本演習を受講するには、「国際外交関係演習IIB」も同時に受講する必要がある。	西暦奇数年度開講。
02DM254	国際外交関係演習IIB	0	1.0	1-3					本演習においては現代日本の対外政策の形成に関する最新の研究成果を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する研究の方法論について議論する。本演習を受講するには、「国際外交関係演習IIA」も同時に受講する必要がある。	西暦奇数年度開講。
02DM267	ユーラシア交流演習IIA	0	1.0	1-3					This class will focus on the analysis of Japanese diplomacy and relations between Japan and post-Soviet states of Eurasia. 旧ソ連諸国(ロシア、ウクライナ、ベラルーシに加え、コーカサス、中央アジア諸国)と日本の関係を取り上げ、この地域における日本の外交政策を分析する。	西暦奇数年度開講。英語で授業。
02DM268	ユーラシア交流演習IIB	0	1.0	1-3					This class will focus on the analysis of Japanese involvement and recent developments in Eurasian Community construction in post-Soviet Eurasia. 旧ソ連諸国(ロシア、ウクライナ、ベラルーシに加え、コーカサス、中央アジア諸国)と日本の関係を取り上げ、新しいユーラシア共同体構築の試みと日本のかかわりを分析する。	西暦奇数年度開講。英語で授業。
02DM271	国際人的移動・交流演習IIA	2	1.0	1-3					現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて、最近の研究動向との照らし合わせや調査方法上の課題の析出などを試みながら、検討を加える。	西暦奇数年度開講。02DMK14, 02DMP11と同一。
02DM281	ユーラシア世界史演習IIA	2	1.0	1-3					中央ユーラシア史に関する研究文献を講読し、その内容について議論する。	西暦奇数年度開講。02DME59, 02DMQ09と同一。
02DM282	ユーラシア世界史演習IIB	2	1.0	1-3					中央ユーラシア史、人類学に関する研究文献を講読し、その内容について議論する。	西暦奇数年度開講。02DME60, 02DMQ10と同一。

演習科目(日本語教育領域)(平成26年度以前入学者対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM351	日本語教育学演習IA	0	1.0	1-3					日本語を中心とした文法・談話について調査・分析を進める。	予め決められた発表者が、毎回自分の研究課題を掘り下げ発表し、議論する。西暦奇数年度開講。
02DM352	日本語教育学演習IB	0	1.0	1-3					日本語を中心とした文法・談話について調査・発表を行う。	予め決められた発表者が、毎回自分の研究課題を掘り下げ発表し、議論する。西暦奇数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM361	日本語教育学演習VIA	0	1.0	1 - 3					日本語教育学に関する文献講読と課題研究。	西暦奇数年度開講。
02DM362	日本語教育学演習VIB	0	1.0	1 - 3					日本語教育学に関する文献講読と課題研究。	西暦奇数年度開講。
02DM369	日本語教育学プログラム演習IA	0	1.0	1 - 3	春AB	応談			日本語教育を専門とする学生を対象とし、研究発表をより精緻にかつ多角的に発展させることを目的とする。内容は、院生による研究発表、運営を行う。毎回定められた発表者が自身の研究内容の成果と課題を報告する。	日本語教育領域の学生は必ず受講すること。 1 口頭発表+質疑応答 流れ: 口頭発表⇒学生による質問など⇒先生方による質問、コメントなど 2 休憩: 8分ほど 3 ポスター発表: 1回は30分で、2回行う。発表者以外の方は自由移動可。 4 自由議論、2020年度より2年おき開講。 ★司会者へ発表当日の流れをホワイトボードにお書きください。パソコンなど設備のご準備をお願いいたします。パソコンとケーブルは事前に専攻事務室で予約し、当日受け取っていただくようお願いいたします。★発表者へmanabaへの発表要旨のアップとレジュメの準備: manabaにある【日本語教育プログラム演習2B】にスレッドを作成し、「発表要旨(発表タイトル、要旨200~300字程度、キーワード)」を送信した上、発表当日には、発表レジュメを人数分用意してください。口頭発表: pptをお使いください。ポスター発表: 発表当日にA0サイズのポスターを持参してください。ポスター発表のご連絡をした時、指導教員のメールアドレスをCCにお入れください。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM370	日本語教育学プログラム演習IB	0	1.0	1 - 3	秋AB	応談			日本語教育を専門とする学生を対象とし、研究発表をより精緻にかつ多角的に発展させることを目的とする。内容は、院生による研究発表、運営を行う。毎回定められた発表者が自身の研究内容の成果と課題を報告する。	日本語教育領域の学生は必ず受講すること。日本語教育領域の学生は必ず受講すること。1口頭発表+質疑応答 流れ:口頭発表⇒先生による質問など⇒先生方による質問、コメントなど 2休憩:8分ほど 3ポスター発表:1回は30分で、2回行う。発表者以外の方は自由移動可。 4自由議論、2020年度より2年おき開講。 ★司会者へ発表当日の流れをホワイトボードにお書きください。パソコンなど設備のご準備をお願いいたします。パソコンとケーブルは事前に専攻事務室で予約し、当日受け取っていただくようお願いいたします。★発表者へmanabaへの発表要旨のアップとレジュメの準備:manabaにある【日本語教育プログラム演習2B】にスレッドを作成し、「発表要旨(発表タイトル、要旨200~300字程度、キーワード)」を送信した上、発表当日には、発表レジュメを人数分用意してください。口頭発表:pptをお使いください。ポスター発表:発表当日にA0サイズのポスターを持参してください。ポスター発表のご連絡をした時、指導教員のメールアドレスをCCにお入れください。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM371	日本語教育学プログラム演習IIA	0	1.0	1 - 3					日本語教育を専門とする学生を対象とし、研究発表をより精緻にかつ多角的に発展させることを目的とする。内容は、院生による研究発表、運営を行う。毎回定められた発表者が自身の研究内容の成果と課題を報告する。	日本語教育領域の学生は必ず受講すること。 1 口頭発表+質疑応答 流れ:口頭発表⇒学生による質問など⇒先生方による質問、コメントなど 2休憩:8分ほど 3ポスター発表:1回は30分で、2回行う。発表者以外の方は自由移動可。 4自由議論、2018年度より2年おき開講。 ★司会者へ発表当日の流れをホワイトボードにお書きください。パソコンなど設備のご準備をお願いいたします。パソコンとケーブルは事前に専攻事務室で予約し、当日受け取っていただくようお願いいたします。★発表者へmanabaへの発表要旨のアップとレジュメの準備:manabaにある【日本語教育プログラム演習2B】にスレッドを作成し、「発表要旨(発表タイトル、要旨200~300字程度、キーワード)」を送信した上、発表当日には、発表レジュメを人数分用意してください。口頭発表:pptをお使いください。ポスター発表:発表当日にA0サイズのポスターを持参してください。ポスター発表のご連絡をした時、指導教員のメールアドレスをCCにお入れください。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM372	日本語教育学プログラム演習11B	0	1.0	1 - 3					日本語教育を専門とする学生を対象とし、研究発表をより精緻にかつ多角的に発展させることを目的とする。内容は、院生による研究発表、運営を行う。毎回定められた発表者が自身の研究内容の成果と課題を報告する。	日本語教育領域の学生は必ず受講すること。 1 口頭発表+質疑応答 流れ: 口頭発表⇒学生による質問など⇒先生方による質問、コメントなど 2 休憩: 8分ほど 3 ポスター発表: 1回は30分で、2回行う。発表者以外の方は自由移動可。 4 自由議論、西暦奇数年度開講。 ★司会者へ発表当日の流れをホワイトボードにお書きください。パソコンなど設備のご準備をお願いいたします。パソコンとケーブルは事前に専攻事務室で予約し、当日受け取っていただくようお願いいたします。★発表者へmanabaへの発表要旨のアップとレジュメの準備: manabaにある【日本語教育プログラム演習2B】にスレッドを作成し、「発表要旨(発表タイトル、要旨200~300字程度、キーワード)」を送信した上、発表当日には、発表レジュメを人数分用意してください。口頭発表: pptをお使いください。ポスター発表: 発表当日にA0サイズのポスターを持参してください。ポスター発表のご連絡をした時、指導教員のメールアドレスをCCにお入れください。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM373	日本語教育学プログラム演習I11A	0	1.0	1 - 3					日本語教育を専門とする学生を対象とし、研究発表をより精緻にかつ多角的に発展させることを目的とする。内容は、院生による研究発表、運営を行う。毎回定められた発表者が自身の研究内容の成果と課題を報告する。	日本語教育領域の学生は必ず受講すること。 1 口頭発表+質疑応答 流れ:口頭発表⇒学生による質問など⇒先生方による質問、コメントなど 2休憩:8分ほど 3ポスター発表:1回は30分で、2回行う。発表者以外の方は自由移動可。 4自由議論、2019年度より2年おき開講。 ★司会者へ発表当日の流れをホワイトボードにお書きください。パソコンなど設備のご準備をお願いいたします。パソコンとケーブルは事前に専攻事務室で予約し、当日受け取っていただくようお願いいたします。★発表者へmanabaへの発表要旨のアップとレジユメの準備:manabaにある【日本語教育プログラム演習2B】にスレッドを作成し、「発表要旨(発表タイトル、要旨200~300字程度、キーワード)」を送信した上、発表当日には、発表レジユメを人数分用意してください。口頭発表:pptをお使いください。ポスター発表:発表当日にA0サイズのポスターを持参してください。ポスター発表のご連絡をした時、指導教員のメールアドレスをCCにお入れください。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DM374	日本語教育学プログラム演習I11B	0	1.0	1 - 3					日本語教育を専門とする学生を対象とし、研究発表をより精緻にかつ多角的に発展させることを目的とする。内容は、院生による研究発表、運営を行う。毎回定められた発表者が自身の研究内容の成果と課題を報告する。	日本語教育領域の学生は必ず受講すること。 1 口頭発表+質疑応答 流れ: 口頭発表⇒学生による質問など⇒先生方による質問、コメントなど 2休憩:8分ほど 3ポスター発表:1回は30分で、2回行う。発表者以外の方は自由移動可。 4自由議論、2019年度より2年おき開講。 主専攻必修科目。 ★司会者へ発表当日の流れをホワイトボードにお書きください。パソコンなど設備のご準備をお願いいたします。パソコンとケーブルは事前に専攻事務室で予約し、当日受け取っていただくようお願いいたします。★発表者へmanabaへの発表要旨のアップとレジュメの準備:manabaにある【日本語教育プログラム演習2B】にスレッドを作成し、「発表要旨(発表タイトル、要旨200~300字程度、キーワード)」を送信した上、発表当日には、発表レジュメを人数分用意してください。口頭発表:pptをお使いください。ポスター発表:発表当日にA0サイズのポスターを持参してください。ポスター発表のご連絡をした時、指導教員のメールアドレスをCCにお入れください。